

消防年報

令和 8 年刊行

川越地区消防局

時代のあふく（虹のまち）
 火災と水害を救う
 町の安全（虹のまち）
 町民の重み
 期待と想い
 纏と本音の
 いきいきと
 つけつけ者よ
 悔のない青春を掲げて
 風切をサイレン赤色町に
 會と桜の旗はゆく
 消防ばら
 筒先を大空へ
 大空、虹と！
 日常に願えた
 智力と科学
 結ぶ組織は自治の文化
 川越地区消防組合消防歌
 関根 肇、作詞
 寺島 尚彦、作曲
 虹のマーチ

虹のマーチ

（川越地区消防組合消防歌）

作詞 関根 肇
 作曲 寺島 尚彦

じだいのうねりむさしのだいちひろが
 れきしのおもみきたいをにないまとい

るみどりうたいながらがれるかもあよ
 とまやりのこころいきをうけつぐものよ

ささえあうひとびとのきずなげがで
 くいのないせいしんをか

ささえあうひとびとのきずなげがでかせ
 いとすいがい
 いるさいがレンみなしくいとうにまゆ

ちのとさくらをまたりはめく

く い ざ い ざ い ざ い

ざ 消 防 ば く - ら 消 防 ば く -

ら い ざ い ざ い ざ い

ざ つ つ さ き - を お お ぞ ら -

へ お お ぞ ら - へ に じ を に じ を に じ を

ひ ご ろ に き た え た

ひ ご ろ に き た え た ち り ゅ く と か が く む

す ぶ そ し き は ま ち の は な

は　じ　め　に

この年報は、川越地区消防局の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この消防年報によって本消防局の現状を認識し、深くご理解いただければ幸いです。

なお、各表について、特記してあるものを除き、年中における消防業務を収録したものであります。

令和8年6月

川越地区消防局

目次

ひと目でわかる消防組合	1
-------------	---

沿革

川越地区消防組合の沿革	2～12
-------------	------

管内情勢

川越市	13
川島町	14
消防機関配置図	15～16

総務

人口等の推移	17
消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合	17
川越地区消防組合機構図	18
消防局・消防署事務分掌	19～21
職員の配置状況	22
消防自動車の配置状況	22
基準消防力と現有消防力の比較	23
川越市・川島町予算(一般会計)消防組合予算(当初)	24
消防組合予算(当初)	24～25
消防組合予算性質別内訳(当初)	25
消防庁舎の現況	26
令和7年度主要な施設等の整備	26
職員定数・実員の推移	27
職員の年齢	28
職員の勤続年数	28
職員の採用、退職等の状況	29
職員の教養実施状況	29
消防音楽隊	30
消防相互応援協定等の状況	31～32

予 防

法令に基づく各種届出状況	33
防火・防災管理者選任(解任)届出状況	33
消防用設備等設置届出状況	34
建築物同意状況	35
用途別防火対象物数	36
防火対象物立入検査実施状況	37
防火管理資格取得者数及び再講習状況	38
広報活動の状況	38
危険物関係処理状況	39
数量別危険物製造所等施設数	40
類別危険物施設状況	41
危険物事業所・施設数の推移	42
火薬類施設状況	42
火薬類申請届出等状況	42

警 防

所属別消防車両一覧表	43
消防水利の状況	44
警防関係各種届出状況	45
事業所消防訓練派遣状況	45
中高層建築物の状況	46
火災出場の状況	47
その他出場の状況	47
現有消防機器	48

指 令

消防指令通信系統図	49
119番受信回数	50
緊急通報システム受信状況	51
無線設備状況	51
無線機配備状況	51
気象観測状況	52

火 災

令和7年中の火災の概要	53
火災の概況	54
火災件数の推移(10年間)	55
火災損害状況の推移(10年間)	56
火災による死傷者の推移(10年間)	57
地区別の出火原因	58
出火原因別火災件数の推移(10年間)	59
出火原因別火災件数	60
原因別火災発生状況	60
月別火災概況	61
月別火災件数	61
建物用途別火災件数	62
時間別火災発生件数	62
曜日別火災発生件数	62

救急・救助

令和7年中の救急・救助の概要	63
救急車の配置及び救急病院配置図	64
救急活動	
救急活動の推移(10年間)	65
月別救急活動の状況	66
事故種別傷病程度別搬送人員	67
事故種別年齢区分別搬送人員	67
署所別救急活動の状況	68
医療機関別搬送人員	69
時間別救急出場件数	69
救命講習実施状況	70
救急講習指導状況	70
救助活動	
事故種別出場件数、活動件数及び救助人員	71
事故種別発生場所別救助人員	71

消防団

消防団分団配置図	72
川越市消防団分団の名称及び受持区域	73
川島町消防団分団の名称及び受持区域	73
消防団員の実員数	74
分団別人口世帯の状況	75
消防団員の勤続年数	76
消防団員の年齢	77
消防団員の報酬等	78
分団別火災出場の状況	79
消防団施設の概要	80
消防自動車性能	81
川越市消防団専用無線設備の状況	82
川島町消防団専用無線設備の状況	83

その他

自警消防隊の状況	84
----------	----

ひと目でわかる消防組合

川越地区消防組合

令和8年4月1日現在(災害の状況は令和7年12月31日現在)

組合の概況	構成市町・面積	人口	世帯数	予算
	川越市 109.13km ² 川島町 41.63km ² 計 150.76km ²	川越市 352,637人 川島町 18,450人 計 371,087人	川越市 172,420世帯 川島町 8,431世帯 計 180,851世帯	7,225,869,000円

組織・施設	消防庁舎	消防職員	消防団	消防団員
	消防局 1(6課) 消防署 3署 消防分署 5分署	定数 435人 実員 433人	川越市消防団 団本部 1 分団 12 川島町消防団 団本部 1 分団 6	川越市消防団 258人 川島町消防団 115人 計 373人

(非常用車両含む) 車両・水利	ポンプ車等	その他の車両	救急車	消防水利
	ポンプ車 15台 (非常用2台含む) 化学車 3台 はしご車 3台 救助工作車 3台 指揮車 1台	支援車 1台 調査車 1台 水槽車 1台 警防車 5台 起震車 1台 指令車 3台 広報車 8台 その他 13台 救援車 1台(トイレカー)	高規格救急車 14台 (非常用3台含む)	消火栓 6,156基 防火水そう 1,908基 プール・池等 85面

災害の状況	火災件数	出火原因	救急件数	救助出場
	建物火災 53件 車両火災 10件 その他火災 40件 計 103件	1位 放火 12件 2位 たばこ 11件 3位 配線器具 9件	急病 15,420件 一般負傷 3,147件 交通事故 1,306件 その他の種別 2,411件 計 22,284件	火災 47件 交通事故 30件 水難事故 4件 その他の事故 128件 計 209件

通信・予防・広報	119番受信状況	防火対象物数	危険物施設数	消防音楽隊
	33,030件	川越市 10,933棟 川島町 901棟 合計 11,834棟	735施設	隊員数 37名 出演回数 3回

※各項目の詳細は、最下段にある㊦の頁に掲載されています。

沿

革

川越地区消防組合の沿革

1. 消防組合の設立

昭和48年

- 4 . 1 川越市と川島町は、消防事務について共同処理することに合意し、規約（議決）により名称を川越地区消防組合と定め、消防の一部事務組合を設立した。

2. 業務開始

昭和48年

- 4 . 1 常備消防にあつては、川越地区消防組合消防本部2課（総務係、経理係）、消防課（警防係、予防係、保安係）、1署（川越消防署）、3分署（新宿分署、霞ヶ関分署、高階分署）体制とし、職員の定数165人実員143人をもって業務を開始した。また、非常備消防にあつては、川越市消防団1団本部、12分団体制とし、団員の定数実員とも303人、川島町消防団3分団、6部体制とし、団員の定数実員とも150人をもって業務を開始した。

3. 業務開始後

- 7 . 11 火災予防を徹底するため広報車を霞ヶ関分署、高階分署に配置した。
- 9 . 5 危険物の災害防止と、増加する事務処理の迅速化に対処するため、川越地区危険物安全協会より小型乗用自動車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。
- 10 . 15 川島町区域内の救急業務の迅速化を図るため、川島町役場庁舎の一部の提供を受け、職員8人、救急自動車1台を配置し、川島分遣所を設置した。
- 10 . 22 緊急時の出動体制の確実迅速化を図るため、各分署に対する一斉指令装置を消防署に設置した。
- 10 . 23 埼玉県共済農業協同組合連合会より、救急車1台の寄贈があり、高階分署に配置した。

昭和49年

- 1 . 7 川島町大字平沼858番地1に川島分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建延364.77㎡が完成し、新庁舎に職員14人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置して業務を開始し、管内北部の消防力を充実強化した。
- 3 . 19 中高層建築物に対処するため、32m級はしご付消防ポンプ自動車を川越消防署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、川島分遣所を川越消防署川島分署とし、消防本部2課（総務課、消防課）、1署（川越）、4分署（新宿、霞ヶ関、高階、川島）体制となる。
- 11 . 21 川越市神明町48番地4に消防本部、消防署の庁舎鉄筋コンクリート造3階建、延1516.70㎡が完成し、11月23日に移転、業務を開始した。

昭和52年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署に通信指令第1係、通信指令第2係を配置した。
- 6 . 29 災害その他現場指揮本部用車両を消防本部に配置した。

昭和54年

- 4 . 5 機構改革により、川越消防署大東分署を新設し、消防本部2課（総務課、消防課）、1署（川越）、5分署（新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東）体制となる。
- 川越市大字豊田新田20番地1に大東分署庁舎鉄筋コンクリート造平屋建398.80㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

- 7 . 24 災害その他現場への資機材輸送の迅速化を図るため、警防車を川越消防署に配置した。

昭和55年

- 5 . 1 機構改革により、川越消防署の通信指令第1係、通信指令第2係を専従体制とした。

昭和56年

- 4 . 1 機構改革により、総務課に教養係、消防課に施設係及び査察指導係を配置し、総務課3係(庶務係、経理係、教養係)、消防課5係(警防係、施設係、予防係、査察指導係、保安係)となる。
- 9 . 30 葵ライオンズクラブより、広報車1台の寄贈があり、消防本部に配置した。

昭和57年

- 1 . 29 多様化する災害に対処するため、救助工作車を川越消防署に配置した。
- 2 . 1 通信指令室に消防緊急指令装置を設置した。
- 10 . 20 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 10 . 22 地震対策の啓蒙に役立てるため、地震体験車(川越なまず号)を川島分署に配置した。
- 12 . 21 管内西部の工業地化が進み、化学火災に対処するため、化学車を大東分署に配置した。

昭和58年

- 1 . 14 通信指令室の総合気象観測装置を更新した。
- 2 . 8 通信指令室に救急専用無線局を設置した。
- 3 . 25 消防署に消防救助技術の向上を図るため、訓練塔(B塔)を設置した。
- 4 . 1 従来の川越消防署通信指令第1係、通信指令第2係を指令第1係、指令第2係とした。
- 12 . 6 エアーマスク用ボンベの空気充填の迅速化を図るため、川越消防署に空気充填庫(7.74㎡)を増築整備した。

昭和59年

- 2 . 28 高層建築物の増加に対処するため、46m級はしご付消防自動車を川越消防署に配置した。
- 3 . 15 消防救助技術訓練施設整備のため、川越消防署に訓練塔(A塔)を増設した。
- 3 . 25 新宿分署に車庫77.49㎡を増築し、32m級はしご付消防ポンプ自動車の配置換えをした。

昭和61年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署東分署を新設し、消防本部2課(総務課、消防課)、1署(川越)、6分署(新宿、霞ヶ関、高階、川島、大東、東)体制となる。
- 7 . 1 川越市大字久下戸3528番地1に東分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建451.05㎡が完成し、職員21人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内東部の消防力を充実強化した。

昭和62年

- 8 . 21 日本消防協会より、広報車1台の寄贈があり、川越消防署に配置した。
- 8 . 28 川越消防署にマイクロバス(29人乗り)を配置した。

平成元年

- 4 . 1 機構改革により、調査指導第1係、調査指導第2係を川越消防署に配置し、火災調査業務を専従体制とした。

平成2年

- 3 . 29 警防車を川越消防署に配置した。

平成3年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部消防課、川越消防署調査指導係及び指令係を廃止し、消防本部に予防課(予防係、査察指導係、保安係)、警防課(警防係、施設係、調査第1係、調査第2係)、指令課(指令第1係、指令第2係)を配置した。また、川島分署を川島消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、2署(川越、川島)、5分署(新宿、霞ヶ関、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署に消防課(消防係)を配置し、組織の充実強化を図る。

平成4年

- 8 . 24 川越地区危険物安全協会より、連絡車1台の寄贈があり、消防本部に配置する。
10 . 5 消防本部増築棟3階建が完成する。

平成5年

- 3 . 15 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を増築棟の庁舎3階に設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の消防本部警防課調査第1係、調査第2係を調査係とした。また、霞ヶ関分署を川越西消防署とし、消防本部4課(総務課、予防課、警防課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、4分署(新宿、高階、大東、東)体制となる。また、各消防署の消防課に庶務係を配置し、組織の充実強化を図る。
5 . 19 救急救命士国家試験に職員1人が合格、本組合第1号の救急救命士が誕生した。
9 . 1 日本損害保険協会より、水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈があり、川越西消防署に配置した。
10 . 11 川越地区消防組合発足20周年記念式典を川越市民会館で開催した。
10 . 30 川島消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造2階建1, 136. 02㎡が完成し、竣工式を開催した。

平成6年

- 3 . 31 川越西消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造3階建1, 490. 08㎡が完成し、救助工作車Ⅱ型1台及び救助資機材一式を配置して、管内西部の消防力を充実強化した。

平成7年

- 3 . 16 消防救助技術訓練施設整備のため、川島消防署に訓練塔(A塔)を設置した。
4 . 1 機構改革により、従来の総務課教養係を人事教養係とし、警防課救急係を救急救助係とした。また、警防課施設係を管理係とし総務課へ、調査係を調査第1係、調査第2係とし川越消防署消防課へ配置換えをした。また、消防署の中隊を廃止し、警備隊(14隊)救急隊(6隊)救助隊(2隊)とした。

平成8年

- 2 . 14 阪神・淡路大震災を契機に、消防水利及び飲料水確保のため、小型動力ポンプ付水そう車を川越消防署に配置した。
高圧ボンベの普及により、空気充填の更なる迅速化を図るために、川島消防署に高圧ガス充填施設(12. 00㎡)を新設整備した。
3 . 29 災害時の応急救護所等に使用するため、エアーテントを川越消防署に配備した。

- 4 . 1 救急高度化推進事業の一環として、埼玉医科大学総合医療センターの医師による救急救命士法に基づいた指示体制が確立、本格的な救急救命士運用が始まる。
増加する救急要請に対応するため、高階分署の救急隊を専従体制とした。
- 5 . 8 阪神・淡路大震災を契機に、埼玉県下14消防本部(川越地区消防組合を含む)を中心とした彩の国レスキュー隊が発足した。
- 11 . 25 消防用無線局全国波を導入整備した。

平成9年

- 3 . 19 彩の国レスキュー隊の発足に伴い、高度救助資器材を積載した救助工作車Ⅲ型を川越消防署に配置した。
- 3 . 21 震災対策用として可搬式小型動力ポンプを各署所に配置した。
- 4 . 1 川越地区消防組合救急高度化推進協議会を設置した。

平成10年

- 4 . 1 機構改革により、川越消防署消防課の調査第1係、調査第2係を第1調査隊、第2調査隊とし川越消防署に配置換えをした。また、大東分署の救急隊を専従体制とした。

平成11年

- 2 . 18 警防車を川越西消防署に配置した。
- 3 . 30 新宿分署新庁舎鉄筋コンクリート造3階建1,772.93㎡が完成し、竣工式を開催した。
- 4 . 1 多様化する災害への対応を図るため、救助隊を特別救助隊とし、新宿分署及び川越西消防署に配置した。

平成12年

- 2 . 1 川越消防署の水そう付消防ポンプ自動車を化学車に更新した。
- 3 . 2 はしご付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、東分署の救急隊を専従体制とした。

平成13年

- 4 . 1 増加する救急要請に対応するため、川島消防署の救急隊を専従体制とした。
川越地区消防組合消防音楽隊が設立される。
国際消防救助隊編成協力市町村の該当となり、8人の救助隊員を国際消防救助隊に登録した。
- 12 . 18 警防車を川越消防署に配置した。

平成14年

- 2 . 8 高規格救急車を川越西消防署に配置した。
- 4 . 1 規約を変更し、「高圧ガス保安法に基づく事務」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく事務」及び「火薬類取締法及び施行規則に基づく事務」を新たに共同処理することとした。
複雑多様化する災害へ対応するため、第1指揮担当、第2指揮担当を川越消防署に配置した。
三交代制勤務の試行を指令課において開始する。
- 12 . 21 消防音楽隊発足式・演奏会をやまぶき会館にて開催した。

平成15年

- 4 . 1 機構改革により、従来の消防本部総務課人事教養係を職員係とし、川越消防署第1調査係、第2調査係を第1調査担当及び第2調査担当とした。
- 11 . 30 川越地区消防組合発足30周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成16年

- 4 . 1 機構改革により、消防本部に救急課(救急管理係、救急指導係)を配置し、従来の警防課を警防係、装備係の2係とした。また、川越西消防署名細分署を新設し、消防本部5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指令課)、3署(川越、川越西、川島)、5分署(新宿、高階、大東、東、名細)体制となる。

川越市大字鯨井589番地1に名細分署庁舎鉄筋コンクリート造2階建1,053.16㎡が完成し、職員35人、水そう付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急車1台、広報車1台を配置して業務を開始し、管内西部の消防力を充実強化した。

平成17年

- 3 . 31 指令課において実施していた三交代制勤務の試行を終了する。

- 4 . 1 機構改革により、消防本部名称を川越地区消防局に改め、係制を廃止し担当制とした。総務課に消防団担当を配置し、総務担当、消防団担当、財務担当、職員担当、管理担当の5担当とした。また、従来の指令課を指揮統制課とし、川越消防署第1指揮担当、第2指揮担当及び第1調査担当、第2調査担当を第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当とし、指揮統制課に配置換えをした。消防署にあっては、従来の川越消防署を川越北消防署に、東分署を南古谷分署とした。また、新宿分署を川越中央消防署として消防課を配置した。消防局5課(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となり、組織の充実強化を図る。

- 11 . 21 川越市自治会連合会より、消防活動用自動二輪車(赤バイ)の寄贈があり、消防局に配置した。

平成18年

- 7 . 19 川越地区消防局を含む県内7消防本部の救助隊による機動救助隊、防災航空隊及び県内の医療機関による埼玉DMATで構成される埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)が発足する。

- 10 . 1 全国的な救助体制の強化を図るため、川越地区消防局を含む全国50の消防本部に高度救助隊が創設され、川越中央消防署に配置した。

平成19年

- 2 . 28 後方支援車を川越西消防署名細分署に配置した。

平成20年

- 2 . 1 消防緊急通信指令装置(Ⅱ型)を部分更新した。

平成22年

- 2 . 26 埼玉県防災ヘリコプターテレビ映像受信装置を設置した。

- 3 . 25 警防車を川島消防署に配置した。

平成24年

- 3 . 30 東日本大震災を契機に、震災対応体制の充実強化を図るため、震災対応初動資機材を各署所に配置した。

平成25年

- 1 . 15 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署高階分署に配置した。

- 12 . 21 川越地区消防組合設立40周年記念式典をやまぶき会館にて開催した。

平成26年

- 4 . 1 埼玉県広域災害・救急医療情報システムへのアクセス用タブレット端末を導入し、消防局指揮統制課及び救急自動車に配置した。

平成27年

- 3 . 26 消防力の強化を図るため、消防救急デジタル無線を導入整備した。

- 7 . 24 連絡車を川島消防署に配置した。

- 12 . 18 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署南古谷分署に配置した。

平成28年

- 1 . 27 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越北消防署に配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川島消防署に配置した。

平成29年

- 1 . 12 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署大東分署に配置した。
- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課に指令管理担当を配置した。
- 12 . 14 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越中央消防署に配置した。
- 12 . 18 高規格救急車を川越中央消防署に新たに配置した。

平成30年

- 4 . 1 機構改革により、指揮統制課の第1指揮調査担当及び第2指揮調査担当を第1指揮担当及び第2指揮担当とし、指揮隊を専従体制とした。また、火災調査に係る担当を火災調査担当とし、専従体制とするとともに指揮統制課から予防課へ配置換えをした。また、救急課の救急管理担当及び救急指導担当を救急担当とし、消防課の庶務担当及び消防担当を管理指導担当とした。また、増加する救急要請に対応するため、中央消防署の救急隊を2隊体制とし、組織の充実強化を図る。
- 11 . 16 圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を川越西消防署に配置した。

令和元年

- 4 . 1 機構改革により、消防局に新消防庁舎建設準備室(庁舎建設担当)を配置し、消防局5課及び1室(総務課、予防課、警防課、救急課、指揮統制課、新消防庁舎建設準備室)、4署(川越北、川越中央、川越西、川島)、4分署(南古谷、高階、大東、名細)体制となる。

令和3年

- 4 . 1 機構改革により、総務課の財務担当を企画財政担当とした。また川越北消防署に統括管理課(統括管理担当)を配置し、消防課の管理指導担当を指導担当とした。

令和5年

- 4 . 1 機構改革により、消防課を指導課に、警備課を消防課とし、消防課及び消防分署の第1警備担当及び第2警備担当を第1消防担当及び第2消防担当とした。
- 11 . 18 川越地区消防組合設立50周年記念式典をウェスタ川越にて開催した。
- 12 . 1 川越市川越地区消防組合一般会計高規格救急自動車整備事業費補助金(株ビー・エム・エル様から川越市への寄附金)を活用し、高規格救急自動車を川越西消防署に配置した。

令和7年

- 4 . 1 機構改革により、川越北消防署消防課に第3救急担当(日勤救急隊)を配置した。
- 8 . 26 救援車(トイレカー)を消防局警防課に配置した。
- 10 . 1 機構改革により、指揮統制課指令担当を三交代制勤務とした。

令和8年

- 2 . 18 消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムを全部更新し、川越市御成町1番地1消防局、川越北消防署新庁舎で運用を開始した。
- 3 . 28 川越市御成町1番地1に消防局、川越北消防署新庁舎、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階階建て5,462.74㎡が完成し、竣工記念式典を開催した。
- 4 . 1 機構改革により、総務課(総務担当、消防団担当、企画財政担当、職員担当、管理担当)を分割し、総務課(総務担当、消防団担当、職員担当)及び財務管理課(消防調整担当、財務担当、施設担当)とした。予防課の予防担当及び査察指導担当を予防査察担当とし、指揮統制課の第1指揮担当及び第2指揮担当を警防課へ配置換えをした。救急課の救急担当を救急管理担当及び救急指導担当とし、指揮統制課を指令課に名称変更した。新庁舎建設準備室を廃止し、川島消防署を川越北消防署川島分署とした。また、増加する救急需要に対応するため、川越中央消防署高階分署に第3救急担当(日勤救急隊)を配置した。
- 5 . 7 新消防庁舎(御成町1番地1)での供用を開始する。

○川越非常備消防

昭和49年

- 3 . 31 川越市消防団大東分団車庫木造モルタル平屋建49. 47㎡を移築した。

昭和51年

- 1 . 29 川越市消防団高階分団車庫ブロック造平屋建42. 0㎡を新築した。
11 . 1 川越市消防団山田分団車庫ブロック造平屋建53. 39㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 18 川越市消防団南古谷分団車庫鉄骨造2階建56. 0㎡を新築した。

昭和53年

- 3 . 30 川越市消防団第二分団車庫木造モルタル平屋建19. 04㎡を増改築し、48. 2㎡に整備した。
川越市消防団福原分団車庫木造モルタル平屋建12. 82㎡を増改築し、47. 53㎡に整備した。

昭和54年

- 3 . 22 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造2階建66. 14㎡を新築した。

昭和56年

- 3 . 31 川越市消防団霞ヶ関分団車庫木造34. 65㎡に2階部分34. 6㎡を増築し、69. 26㎡に整備した。
11 . 27 川越市消防団古谷分団車庫ブロック造40. 64㎡に木造2階部分34. 61㎡を増築し、75. 25㎡に整備した。

昭和57年

- 12 . 20 川越市消防団第一分団車庫木造及びブロック造平屋建に8. 26㎡増築し、61. 15㎡に整備した。

昭和58年

- 9 . 9 川越市消防団芳野分団車庫ブロック造平屋建に1. 28㎡増築し、44. 86㎡に整備した。

昭和61年

- 2 . 10 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。
3 . 31 川越市消防団福原分団車庫鉄骨造平屋建67. 62㎡を新築した。

昭和63年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数304人とした。
組織力強化のため、団本部の副団長を2人から3人体制とした。

平成元年

- 3 . 11 川越市消防団大東分団車庫鉄骨造2階建84. 20㎡を新築した。

平成3年

- 3 . 30 川越市消防団第三分団車庫鉄骨造2階建104. 52㎡を新築した。

平成7年

- 3 . 31 川越市消防団第一分団車庫鉄筋コンクリート造2階建91. 8㎡を新築した。
川越市消防団古谷分団車庫鉄筋コンクリート造一部木造2階建99. 4㎡を新築した。

平成8年

- 8 . 20 第19回埼玉県消防操法大会(ポンプ車の部)において優勝した。

平成10年

- 3 . 17 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団専用無線(基地局1台、車両積載12台、携帯型17台)を導入整備した。
- 4 . 1 組織力強化のため、団本部の副団長を3人から4人体制とした。

平成11年

- 2 . 9 日本消防協会表彰「表彰旗」を受賞した。
- 3 . 15 川越市消防団第二分団車庫鉄筋コンクリート造2階建109. 79㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を1人増員し、定数305人とした。

平成15年

- 3 . 14 川越市消防団山田分団車庫鉄骨造2階建112. 00㎡を新築した。

平成16年

- 2 . 20 川越市消防団高階分団車庫鉄骨造2階建112. 00㎡を新築した。
- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を20人増員、定数325人とし、女性消防団員20人を新規に採用した。

平成17年

- 3 . 25 川越市消防団芳野分団車庫鉄骨造平屋建104. 00㎡を新築した。
- 10 . 20 川越市女性消防隊が第17回全国女性消防操法大会に埼玉県代表として出場し、準優勝した。

平成18年

- 3 . 28 川越市消防団霞ヶ関分団車庫鉄骨造平屋建100. 00㎡を新築した。

平成19年

- 3 . 1 川越市消防団南古谷分団車庫木造平屋建103. 10㎡を新築した。

平成20年

- 3 . 7 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した。
- 3 . 26 川越市消防団名細分団車庫鉄骨造平屋建100. 00㎡を新築した。

平成23年

- 4 . 1 川越市消防団団員の定数を5人増員し、定数330人とした。

平成24年

- 5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

- 3 . 14 川越市消防団福原分団車庫鉄筋コンクリート造2階建99. 22㎡を新築した。

平成26年

- 9 . 9 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェンソーを配置した。

平成27年

- 1 . 11 一般社団法人日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽自動車の寄贈を受けた。
- 3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。
- 10 . 14 災害活動の充実強化を図るため、各分団にエンジンカッターを配置した。

令和元年

3 . 6 消防庁長官表彰「竿頭綬」を受賞した。

令和4年

3 . 4 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

令和5年

3 . 11 総務省消防庁から救助資機材積載型消防ポンプ自動車1台を無償貸付された。

令和6年

2 . 27 川越市消防団大東分団車庫鉄筋コンクリート造2階建て99.22m³を新築した。

○川島非常備消防

昭和49年

- 4 . 1 川島町消防団が改組され、3分団6部、定数150人の組織から1団本部6分団、定数118人の組織体制となる。

昭和50年

- 12 . 23 川島町消防団第五分団車庫ブロック造平屋建25. 21㎡を新築した。

昭和52年

- 3 . 31 川島町消防団第六分団車庫ブロック造平屋建49. 98㎡を新築した。

昭和58年

- 11 . 30 川島町消防団第三分団車庫ブロック造平屋建3. 3㎡を増築して23. 1㎡に整備した。

昭和60年

- 7 . 19 災害現場での迅速な指揮活動のため団本部指令車1台を購入した。

昭和63年

- 3 . 30 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建29. 7㎡を新築した。

平成3年

- 2 . 13 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建49. 87㎡を新築した。
2 . 13 日本消防協会表彰「竿頭綬」を受賞した。

平成7年

- 2 . 17 川島町消防団第一分団車庫鉄骨造平屋建60. 3㎡を新築した。

平成11年

- 3 . 5 消防庁長官表彰「表彰旗」を受賞した。

平成13年

- 3 . 28 川島町消防団第四分団車庫鉄骨造2階建85. 66㎡を新築した。

平成15年

- 3 . 21 川島町消防団第五分団車庫鉄骨造2階建88. 9㎡を新築した。

平成17年

- 2 . 3 川島町消防団第六分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成18年

- 1 . 16 川島町消防団第二分団車庫鉄骨造平屋建2. 16㎡を増設した。(全体52. 03㎡)

平成19年

- 3 . 15 川島町消防団第三分団車庫鉄骨造平屋建89. 43㎡を新築した。

平成22年

- 4 . 1 川島町消防団団員の定数を6人増員、定数124人とし、女性消防団員7人を新規に採用した。

平成24年

- 5 . 31 災害活動の充実強化を図るため、簡易救助資機材を配置した。

平成25年

- 4 . 1 川島町消防団団員の定数を5人増員、定数129人とした。

平成26年

- 11 . 8 川島町消防団第五分団が第24回全国消防操法大会に埼玉県代表として出場し、敢闘賞を受賞した。

平成27年

- 3 . 25 災害活動時における指揮、連絡系統の充実強化を図るため、消防団デジタル無線機器を導入整備した。

平成28年

- 3 . 10 災害活動の充実強化を図るため、各分団にチェーンソーを配置した。

令和6年

- 10 . 22 水害活動用資機材として、各分団にゴムボートを配置した。

令和8年

- 3 . 6 日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した。

管内情勢

川越市

川越市の位置

位置		面積	
北緯	35° 55' 30' ''	109.13km ²	
東経	139° 29' 08' ''	東西	16.27km
海拔	18.5m	南北	13.81km

川越市のプロフィール

川越市は、埼玉県の中央部よりやや南部、武蔵野台地の東北端に位置し、109.13平方キロメートルの面積と35万人を超える人口を有する都市です。都心から30キロメートルの首都圏に位置するベッドタウンでありながら、商品作物などを生産する近郊農業、交通の利便性を生かした流通業、伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を有しています。

遠く古代より交通の要衝、入間地域の政治の中心として発展してきた川越は、平安時代には桓武平氏の流れをくむ武蔵武士の河越氏が館を構え勢力を伸ばしました。室町時代には、河越城を築城した太田道真・道灌父子の活躍により、扇谷上杉氏（おうぎがやつうえすぎし）が関東での政治・経済・文化の一端を担うとともに、河越の繁栄を築きました。江戸時代には江戸の北の守りとともに舟運を利用した物資の集積地として、川越地域は重要視されました。

大正11(1922)年には埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和30(1955)年には隣接する9村を合併し現在の市域となりました。平成15(2003)年には埼玉県内で初めて中核市に移行、令和4(2022)年12月に市制施行100周年を迎えました。

川 島 町

川島町の位置

位置		面積	
北緯	35° 59' 34''	41.63km ²	
東経	139° 29' 03''	東西	11.2km
海拔	14.5m	南北	7.9km

川島町のプロフィール

川島町は埼玉県のほぼ中央に位置し、北は都幾川・市野川を境として東松山市・吉見町に、東は荒川を境として北本市・桶川市・上尾市に、南は入間川を境として川越市に、西は越辺川を境として坂戸市に接しています。

まさに“川に囲まれた島”そのものといえます。

面積は41.63平方キロメートルで、東西間11キロメートル、南北間8キロメートルです。

標高は平均14.5メートルで、高低差はほとんどなく、かつては見渡す限り水田地帯でした。

この地域に集落を形成して生活を営むようになったのは奈良時代の少し前ごろからとみられており、町内にはそのころの様子が見える「塚」や「塚の跡」が残っています。江戸時代になると川越藩の支配の中で農業生産が高まりましたが、反面、荒川の流れを現在の場所に変えたことで、たびたび水害に悩まされるようになりました。その後、時代が進むにつれ、河川改修や堤防の築造によって徐々に水害を克服してきました。

消防機関配置図

令和8年6月1日現在



川越地区消防局・川越北消防署



📍川越市御成町1番地1

☎️〈消防局〉049-222-0700 〈川越北消防署〉049-226-7290

川越中央消防署高階分署



📍川越市大字砂新田16番地3 ☎️049-243-8054

川越北消防署南古谷分署



📍川越市大字久下戸3528番地1 ☎️049-235-0801

川越中央消防署大東分署



📍川越市南大塚1丁目1番地9 ☎️049-245-3119

川越北消防署川島分署



📍比企郡川島町大字平沼888番地 ☎️049-297-1891

川越西消防署



📍川越市伊勢原町5丁目3番地 ☎️049-231-2066

川越中央消防署



📍川越市新宿町2丁目14番地7 ☎️049-242-2365

川越西消防署名細分署



📍川越市大字鯨井589番地1 ☎️049-234-0119

総務

人口等の推移

(1) 川越市、川島町の状況

各年4月1日現在

年 \ 人口等	人口(人)		世帯数(世帯)		人口密度(人/㎢)	
	川越市	川島町	川越市	川島町	川越市	川島町
令和3年	353,442	19,622	163,023	8,112	3,239	471
令和4年	352,896	19,281	164,413	8,108	3,234	463
令和5年	352,986	19,112	166,362	8,214	3,235	459
令和6年	352,836	18,784	168,317	8,234	3,233	451
令和7年	352,673	18,613	170,294	8,331	3,232	447
令和8年	352,637	18,450	172,420	8,431	3,231	443

面積＝川越市109.13㎢

川島町41.63㎢

(2) 消防組合区域の状況

年 \ 人口等	人口(人)	世帯数(世帯)	人口密度(人/㎢)
令和3年	373,064	171,135	2,475
令和4年	372,177	172,521	2,469
令和5年	372,098	174,576	2,468
令和6年	371,620	176,551	2,465
令和7年	371,286	178,625	2,463
令和8年	371,087	180,851	2,461

面積＝150.76㎢

消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

令和8年4月1日現在

人口等 \ 吏員等	現有数	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(㎢)
消防吏員1人当り	433人	857	417	0.35
消防ポンプ車1台当り	18台	20,616	10,047	8.38
救急車1台当り	14台	26,506	12,918	10.77
1署当り	8署	46,386	22,606	18.85

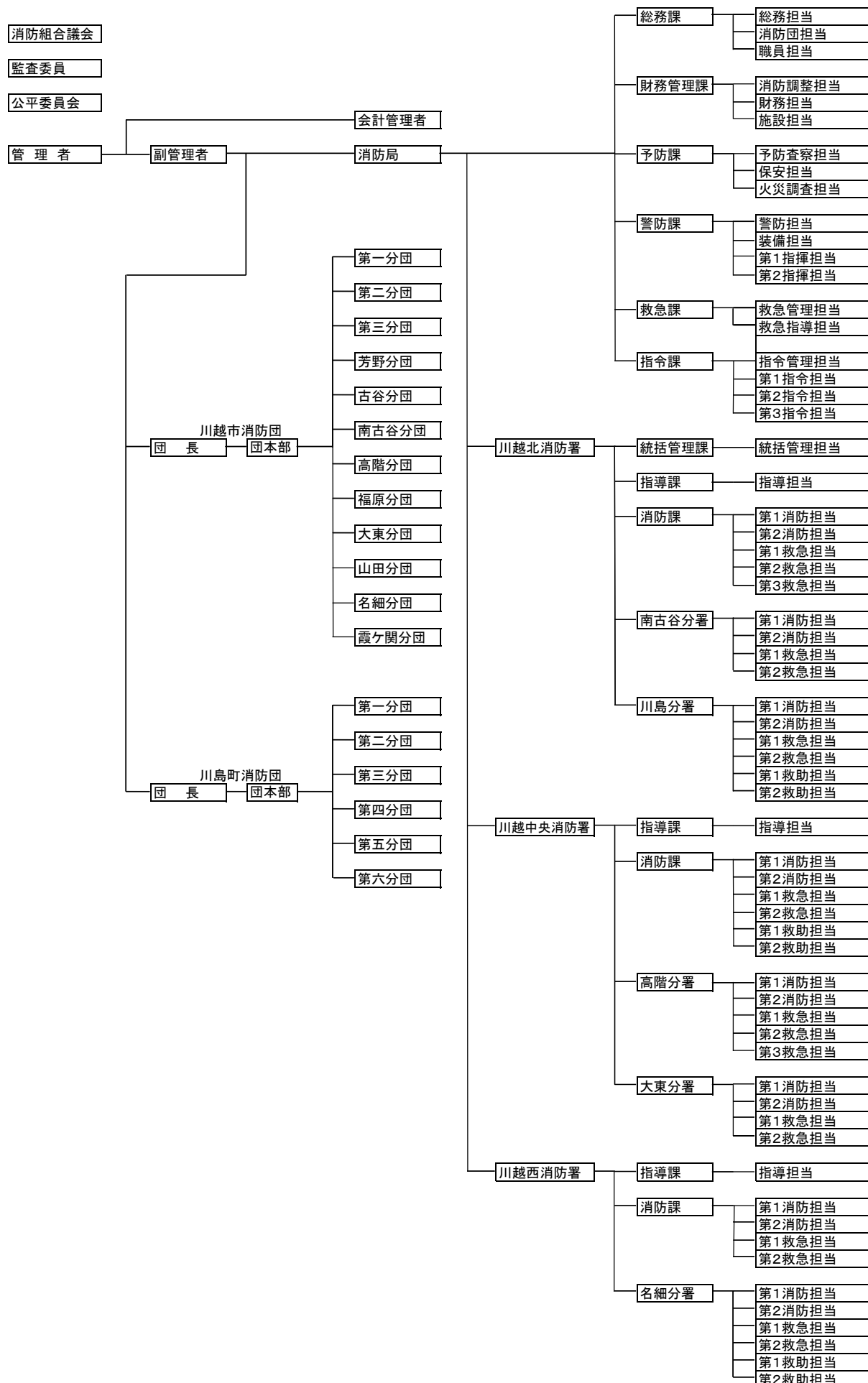
※定数外の職員を含みます。

※暫定再任用職員及び会計年度任用職員を含みません。

※消防ポンプ車は、消防ポンプ自動車、化学車及び非常用消防自動車が該当します。

川越地区消防組合機構図

令和8年4月1日



消防局・消防署事務分掌

令和8年4月1日現在

消防局

総務課	総務担当	1 組合議会の招集及び議案に関する事。 2 儀式及び表彰に関する事。 3 文書の管理に関する事。 4 公印に関する事。 5 情報公開制度に関する事。 6 個人情報の保護に関する事。 7 条例及び規則等に関する事。 8 監査に関する事。 9 公平委員会に関する事。 10 消防職員委員会に関する事。 11 消防長会等に関する事。 12 消防音楽隊に関する事。 13 課内の庶務事務に関する事。
	消防団担当	1 消防団に関する事。 2 消防協会に関する事。
	職員担当	1 職員の任免、分限、懲戒その他勤務条件に関する事。 2 職員の服務その他身分取扱いに関する事。 3 職員の配置に関する事。 4 職員等の旅費に関する事。 5 職員の給与に関する事。 6 職員の給貸与物品に関する事。 7 職員の教養及び研修に関する事。 8 職員の福利厚生に関する事。 9 職員の労働安全衛生に関する事。 10 職員の公務災害補償に関する事。 11 市町村職員共済組合に関する事。
財務管理課	消防調整担当	1 組合議会に関する事。 2 消防行政施策の企画立案及び総合調整に関する事。 3 行政組織に関する事。 4 本部会議、所属長会議及び担当会議に関する事。 5 消防統計(他の主管に属する統計を除く。)に関する事。 6 広報及び広聴の総合的な調整等に関する事。 7 情報化施策の企画及び推進に関する事。 8 情報セキュリティに関する事。 9 課内の庶務事務に関する事。 10 その他他の主管に属さない事項に関する事。
	財務担当	1 予算の編成に関する事。 2 予算の執行計画、配当及び執行統制に関する事。 3 物品の出納及び保管に関する事。 4 決算に関する事。 5 契約に関する事。 6 入札等審査委員会に関する事。 7 国庫及び県費の補助に関する事。
	施設担当	1 公有財産の取得、管理及び処分に関する事。 2 庁舎の維持管理に関する事。 3 防火水槽に係る工事等に関する事。

予 防 課	予防査察担当	1 火災予防に係る事業計画の立案及び事業の実施に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 消防用設備等の指導に関すること。 4 消防法(昭和23年法律第186号)第7条に基づく建築物の許可等の同意に関すること。 5 法令に基づく各種届出に関すること。 6 予防統計に関すること。 7 予防技術資格者に関すること。 8 消防対象物の査察に関すること。 9 違反防火対象物の改善指導に関すること。 10 表示及び公表の制度に関すること。 11 住宅防火対策に関すること。 12 課内の庶務事務に関すること。
	保安担当	1 危険物の規制に関すること。 2 危険物製造所等の許認可、査察、事故原因調査及び事故防止対策指導に関すること。 3 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 4 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)に基づく事務に関すること。 5 火薬類取締法(昭和25年法律第49号)に基づく事務に関すること。 6 高圧ガス保安法(昭和26年法律第204号)に基づく事務に関すること。 7 危険物防火安全協会に関すること。
	火災調査担当	1 火災の原因及び損害の調査、報告及び統計に関すること。 2 火災証明に関すること。 3 火災調査技術の研究に関すること。
警 防 課	警防担当	1 警防及び救助業務に係る企画立案に関すること。 2 警防活動体制に関すること。 3 消防相互応援協定に関すること。 4 緊急消防援助隊に関すること。 5 警防計画に関すること。 6 警防本部の運営に関すること。 7 消防水利に関すること。 8 救助統計に関すること。 9 国際消防救助隊に関すること。 10 課内の庶務事務に関すること。
	装備担当	1 消防車両及び消防資機材の整備に関すること。 2 消防車両の管理に関すること。 3 公用車の事故処理に関すること。 4 安全運転管理の指導に関すること。
	第1指揮担当 及び 第2指揮担当	1 災害現場における指揮活動に関すること。 2 災害現場における情報収集及び現場広報に関すること。 3 警防活動技術の調査、研究及び計画に関すること。 4 消防部隊の教育訓練の計画及び実施に関すること。
救 急 課	救急管理担当	1 救急業務に係る企画立案に関すること。 2 救急自動車及び救急資機材の整備に関すること。 3 医療機関等との連絡調整に関すること。 4 救急出場証明に関すること。 5 救急高度化の推進に関すること。 6 救急統計に関すること。 7 課内の庶務事務に関すること。
	救急指導担当	1 応急手当の普及及び啓発に関すること。 2 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関すること。 3 メディカルコントロールに関すること。
指 令 課	指令管理担当	1 消防緊急通信指令施設に関すること。 2 消防気象観測装置の管理に関すること。 3 課内の庶務事務に関すること。
	第1指令担当、 第2指令担当 及び 第3指令担当	1 消防緊急通信指令施設に関すること。 2 消防気象観測装置の管理に関すること。 3 課内の庶務事務に関すること。 4 一般取扱所の維持管理及び運用に関すること。

川越北消防署
川越中央消防署
川越西消防署

南古谷分署 川島分署
高階分署 大東分署
名細分署

(川越北消防署) 統括管理課	統括管理担当	1 消防署の予算の執行事務に関すること。 2 署会議及び署担当会議に関すること。 3 消防署間の事務の調整に関すること。 4 職員の教養及び研修に関すること。 5 防災学習施設に関すること。
指導課 (消防署)	指導担当	1 消防署に係る公印に関すること。 2 署長等が主宰する会議に関すること。 3 住宅防火対策に関すること。 4 消防対象物の査察の実施に関すること。 5 圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いに関すること。 6 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 7 防火対象物に対する防火管理に関すること。 8 火災予防等の計画及び実施に関すること。 9 法令に基づく届出に関すること。 10 訓練指導に関すること。 11 消防署内の事務の調整に関すること。
消防課 (消防署) ・ 分署	第1消防担当 及び 第2消防担当	1 水火災、救助等の災害時等の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 防火対象物に対する防火管理に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災等の調査に関すること。 6 法令に基づく届出に関すること。 7 訓練指導に関すること。 8 消防車の維持管理に関すること。 9 消防資機材の運用及び維持管理に関すること。 10 警防活動及び救助活動の研究に関すること。 11 警防調査に関すること。 12 課(分署)内の庶務事務に関すること。 13 自家用給油取扱所及び地下タンク貯蔵所の維持管理及び運用に関すること (川越北消防署に限る。)。
	第1救急担当、 第2救急担当 及び 第3救急担当	1 救急の出動に関すること。 2 応急手当の指導に関すること。 3 救急車の維持管理に関すること。 4 救急資機材の運用及び維持管理に関すること。 5 救急医薬品に関すること。 6 救急活動の研究に関すること。
	第1救助担当 及び 第2救助担当 [川島分署 川越中央消防署 名細分署]	1 水火災、救助等の災害時の出動に関すること。 2 消防対象物の査察の実施に関すること。 3 防火対象物に対する防火管理に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災等の調査に関すること。 6 法令に基づく届出に関すること。 7 訓練指導に関すること。 8 救助工作車等の維持管理に関すること。 9 救助資機材等の運用及び維持管理に関すること。 10 救助活動の研究に関すること。 11 救助活動及び警防活動に伴う警防調査に関すること。

職員の配置状況

令和8年4月1日現在

階級 署所	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防吏員以外の職員	合 計
消防局	1	4	10	20	47	7(3)	6	1		96(3)
川越北消防署		1	3	8	17	8(2)	5	7		49(2)
南古谷分署			1	4	14	2	5	7		33
川島分署			1	4	8	7	3	10		33
川越中央消防署		1	2	7	20	20(1)	8	9		67(1)
高階分署			1	5	15	4	7	6		38
大東分署			1	4	14	5	4	5		33
川越西消防署		1	2	5	13	4(1)	5	9		39(1)
名細分署			1	4	20	3	8	9		45
合計	1	7	22	61	168	60(7)	51	63		433(7)

※ 定数外の職員を含みます。

(単位:人)

※ ()は、短時間勤務の職員の数を外書しています。

※会計年度任用職員を除いています。

消防自動車の配置状況

令和8年4月1日現在

車両 署所	水槽付 ポンプ 自動車	ポンプ 自動車	化学車	水槽車	高規格 救急車	救 助 工作車	はしご車	指揮車	調査車	指令車	後 方 支援車	警防車	広報車	その他	合 計	小 型 動 力 ポンプ
消防局								1	1	3				2【赤バイ 救援車】 6【連絡車】	13	
川越北消防署		1	1		1(1)		1					1	1	2【マイク 起震車】 2【連絡車】	10(1)	2
南古谷分署	1	1			1(1)							1	1		5(1)	1
川島分署	1	1			1	1						1	1		6	1
川越中央消防署		1(1)	1		2	1	1					1	1	2【連絡車】	10(1)	1
高階分署		2			2								1		5	1
大東分署		1	1	1	1								1		5	1
川越西消防署	1	1(1)			2		1						1	1【連絡車】	7(1)	1
名細分署	1	1			1(1)	1					1	1	1		7(1)	1
合計	4	9(2)	3	1	11(3)	3	3	1	1	3	1	5	8	15	68(5)	9

※ ()は、非常用車両の台数を外書しています。

(単位:台)

基準消防力と現有消防力の比較

令和8年4月1日現在

区分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区分	基準台数	現有台数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	338	82
はしご車	3	3	100			
化学車	3	3	100			
救急車	11	11	100			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	8	16	200			
非常用消防自動車	2	2	100			
非常用救急車	2	3	150			
通信員				18	22	122
予防要員				67(15)	47(15)	70
庶務処理等の人員				66	70	106
合計				547	462	84

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める算出基準によるものです。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していません。

※ 現有人員は、暫定再任用職員及び会計年度任用職員を含みます。

川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

（1）市・町予算に対する消防組合の割合

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合計 (千円)	消防組合 予算 (千円)	市町予算 合計額に 対する組合 予算の割合 (%)	住民1人 当たりの 組合予算 (円)	消防職員1人 当たりの常 備消防予算 (円)
令和6年度	128,350,000	8,877,000	137,227,000	9,573,691	7.0	25,762	20,768,793
令和7年度	136,970,000	9,323,000	146,293,000	10,787,168	7.4	29,054	22,870,248
令和8年度	143,850,000	8,918,000	152,768,000	7,225,869	4.7	19,472	13,203,686

（2）市・町予算に対する消防組合負担金等の割合

区分 年度	川越市 負担金等 (千円)	川越市予算 に対する 負担割合 (%)	川島町 負担金等 (千円)	川島町予算 に対する 負担割合 (%)	共通経費負担割合	
					川越市 (%)	川島町 (%)
令和6年度	4,908,441	3.8	568,316	6.4	90.0	10.0
令和7年度	5,432,482	4.0	627,981	6.7	90.0	10.0
令和8年度	6,120,172	4.3	648,257	7.3	90.8	9.2

※ 負担金等：負担金及び受託料を含みます。

消防組合予算（当初）

（1）歳入

区分	令和8年度		令和7年度	
	年度予算額等 予算額(千円)	構成割合(%)	年度予算額等 予算額(千円)	構成割合(%)
分担金及び負担金	6,752,198	93.4	6,036,856	56.0
使用料及び手数料	4,769	0.1	4,939	0.0
財産収入	2,066	0.0	518	0.0
寄附金	1	0.0	1	0.0
繰越金	25,000	0.3	25,000	0.2
諸収入	35,635	0.5	42,554	0.4
組合債	406,200	5.6	4,677,300	43.4
歳入合計	7,225,869	100.0	10,787,168	100.0

(2) 歳 出

年度予算額等 区 分	令和8年度		令和7年度	
	予算額（千円）	構成割合（%）	予算額（千円）	構成割合（%）
議会費	5,561	0.1	15,353	0.1
総務管理費	3,967	0.1	4,969	0.0
監査委員費	382	0.0	546	0.0
常備消防費	5,717,196	79.1	9,948,558	95.2
非常備消防費	120,580	1.7	202,154	1.9
水利施設費	97,657	1.4	97,016	0.9
自警消防費	16,231	0.2	23,607	0.2
公債費	1,259,795	17.4	490,465	4.5
予備費	4,500	0.1	4,500	0.0
歳出合計	7,225,869	100.0	10,787,168	100.0

消防組合予算性質別内訳（当初）

年度予算額等 区 分	令和8年度		令和7年度	
	予算額（千円）	構成割合（%）	予算額（千円）	構成割合（%）
人件費	4,752,259	65.8	4,478,111	41.5
物件費	593,520	8.2	523,734	4.9
維持補修費	14,262	0.2	12,283	0.1
補助費等	120,483	1.7	121,371	1.1
普通建設事業費	479,644	6.6	5,156,604	47.8
公債費	1,259,795	17.4	490,465	4.5
積立金	1,406	0.0	100	0.0
予備費	4,500	0.1	4,500	0.0
歳出合計	7,225,869	100.0	10,787,168	100.0

※ 構成割合（%）は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しています。
したがって、構成割合は、合計が100%とならない場合があります。

消防庁舎の現況

令和8年6月1日現在

署所	所在地	建築年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消防局	〒350-0841 川越市御成町1-1	R8.1. 30	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造4階建	20,859.13	2,390.80	5,462.74
川越北消防署	消防局と併用	-	-	-	-	-
南古谷分署	〒350-0011 川越市大字久下戸 3528-1	S61. 6.25	鉄筋コンクリート造 2階建一部平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川島分署	〒350-0131 川島町大字平沼888	H 5. 7.12	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02
川越中央消防署	〒350-1124 川越市新宿町 2-14-7	H10.11.13	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.145	1,772.93
高階分署	〒350-1137 川越市大字砂新田 16-3	S47. 8.30	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大東分署	〒350-1119 川越市南大塚1-1-9	S54. 3.15 H30. 3.28 (増築)	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建	1,578.08	398.80 48.59	441.55
川越西消防署	〒350-1108 川越市伊勢原町5-3	H 6. 3.31	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名細分署	〒350-0815 川越市大字鯨井 589-1	H16. 3.31	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66

令和7年度主要な施設等の整備

事業名	事業内容	事業費
施設関係	庁舎等整備	川越西消防署トイレ改修工事 36,127,300 川越北消防署南古谷分署屋上防水・外壁等改修工事 29,076,300 川越中央消防署エレベーター改修工事設計業務委託 1,914,000 川越地区消防局・川越北消防署解体工事設計業務委託 7,700,000 川越市消防団高階分団外壁等改修工事 8,041,000
	消防局庁舎整備推進	川越地区消防局・川越北消防署外構整備工事単価入替等業務委託 6,600,000
	消防局庁舎建設事業 (庁舎棟等)	川越地区消防局・川越北消防署新築工事(3箇年継続事業 3年目) 2,035,216,723
		川越地区消防局・川越北消防署新築電気設備工事(3箇年継続事業 3年目) 558,219,181
		川越地区消防局・川越北消防署新築空調設備工事(3箇年継続事業 3年目) 448,217,130
		川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事(2箇年継続事業 2年目) 245,897,300
		川越地区消防局・川越北消防署新築工事監理業務委託(3箇年継続事業 3年目) 66,000,000
	消防局庁舎建設事業 (造成等)	川越地区消防局・川越北消防署雨水貯留槽設置工事(2箇年継続事業 2年目) 238,200,700
		川越地区消防局・川越北消防署1期外周道路整備工事(2箇年継続事業 2年目) 40,923,800
		川越地区消防局・川越北消防署2期擁壁工事(2箇年継続事業 2年目) 70,684,300
		川越地区消防局・川越北消防署2期外周道路整備工事 65,832,800
		川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その1) 350,548,000
		川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)(2箇年継続事業 1年目) 40,600,000
		川越地区消防局・川越北消防署新築外構その他電気設備工事(その1) 73,700,000
		川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事(その1)(2箇年継続事業 1年目) 7,100,000
	消防局庁舎建設事業 (訓練塔)	川越北消防署訓練塔新築工事(3箇年継続事業 2年目) 230,600,000
	消防指令センター整備事業	新消防指令センター整備工事施工監理業務委託(2箇年継続事業 2年目) 13,693,000
		新消防指令センター整備工事一式(2箇年継続事業 2年目) 1,512,745,300
備品関係	車両等整備	警防車(南古谷分署) 15,840,000
		救援車(消防局) 8,984,800
		支援車(名細分署) 125,730,000
		消防ポンプ自動車(高階分署) 70,290,000
		高規格救急自動車(名細分署・高階分署) 74,250,000
		消防ポンプ自動車(川越市消防団 南古谷分団) 28,050,000
		消防ポンプ自動車(川島町消防団 第四分団) 28,270,000

(単位:円)

職員定数・実員の推移

各年4月1日現在

	定数	実員	定数条例改正年月日		定数	実員	定数条例改正年月日
昭和 48年	165	143	昭和48年4月1日	平成 12年	371	368	平成12年4月1日
49年	166	166	昭和49年4月1日	13年	377	375	平成13年4月1日
50年	167	167	昭和50年4月1日	14年	391	391	平成14年4月1日
51年	167	167		15年	407	407(2)	平成15年4月1日
52年	167	166		16年	424	424	平成16年4月1日
53年	174	167	昭和53年4月1日	17年	424	424	
54年	195	195	昭和54年4月1日	18年	428	428	平成18年4月1日
55年	203	202	昭和55年4月1日	19年	428	428	
56年	207	207	昭和56年4月1日	20年	428	428	
57年	212	212	昭和57年4月1日	21年	428	427(2)	
58年	215	214	昭和58年4月1日	22年	428	428(5)	
59年	215	214		23年	428	428(12)	
60年	215	214		24年	428	428(14)	
61年	236	233	昭和61年4月1日	25年	428	428(12)	
62年	236	236		26年	428	428(19)	
63年	236	235		27年	428	428(13)	
平成 元年	240	237	平成元年4月1日	28年	428	427(17)	平成28年4月1日 定数外の職員に係る規定の追加
2年	240	240		29年	428	428(11)	
3年	250	244	平成3年4月1日	30年	428	429(8)	
4年	267	265	平成4年4月1日	令和 元年	433	434(6)	平成31年4月1日
5年	287	286	平成5年4月1日	2年	433	432(8)	
6年	320	308	平成6年4月1日	3年	433	434(10)	
7年	325	323	平成7年4月1日	4年	435	435(11)	令和4年4月1日
8年	337	337	平成8年4月1日	5年	435	433(11)	
9年	342	340	平成9年4月1日	6年	435	434(10)	
10年	352	352	平成10年4月1日	7年	435	431(11)	
11年	361	360	平成11年4月1日	8年	435	433(7)	

※()は、短時間勤務の職員の数を外書しています。
 ※平成28年度以降の実員については、定数外の職員を含みます。
 ※会計年度任用職員は除いています。

職員の年齢

令和8年4月1日現在

階級等 年齢	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
18歳								1		1
19歳								3		3
20歳								4		4
21歳								2		2
22歳								7		7
23歳								6		6
24歳								5		5
25歳								6		6
26歳								11		11
27歳								12		12
28歳							4	1		5
29歳							6	3		9
30歳							10	2		12
31歳						2	8			10
32歳						2	5			7
33歳						7	3			10
34歳						4	6			10
35歳						4	3			7
36歳					1	9	2			12
37歳					3	2				5
38歳					1	9	1			11
39歳					3	2	2			7
40歳					8	2	1			11
41歳					8	5				13
42歳					9	3				12
43歳					4	3				7
44歳					11					11
45歳					13	1				14
46歳					15	2				17
47歳				1	16					17
48歳				1	15	1				17
49歳				4	14	2				20
50歳				5	17					22
51歳			1	13	6					20
52歳			1	13	12					26
53歳			4	4	4					12
54歳			1	4						5
55歳			2	5	1					8
56歳			5	6	1					12
57歳		2	2							4
58歳		1	4	3						8
59歳	1	4	2	2	1					10
60歳					4					4
61歳					1					1
62歳										0
63歳										0
64歳										0
合計（人）	1	7	22	61	168	60	51	63	0	433
平均（歳）	59.0	58.3	55.6	52.6	46.9	37.9	31.2	24.5	0.0	42.0

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の勤続年数

令和8年4月1日現在

階級等 年数	消 防 吏 員								消 防 吏 員 以 外 の 職 員	合 計
	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
1年未満								10		10
1年以上								6		6
2年以上								3		3
3年以上								5		5
4年以上								10		10
5年以上								15		15
6年以上							5	3		8
7年以上							4	3		7
8年以上							8	6		14
9年以上						1	3	2		6
10年以上							8			8
11年以上						2	3			5
12年以上						3	5			8
13年以上						4	1			5
14年以上					2	4	2			8
15年以上					3	13	5			21
16年以上					3	6	3			12
17年以上					4	8	3			15
18年以上					3	5	1			9
19年以上					5					5
20年以上					5	3				8
21年以上					4					4
22年以上					14	4				18
23年以上					16	3				19
24年以上				2	15					17
25年以上				1	10	1				12
26年以上				2	9	3				14
27年以上				1	11					12
28年以上				4	11					15
29年以上			1		10					11
30年以上			1	4	11					16
31年以上			1	4	10					15
32年以上				5	11					16
33年以上		1	1	13	3					18
34年以上			4	13	1					18
35年以上			3	4						7
36年以上			1	2	1					4
37年以上		1	3	2	1					7
38年以上										0
39年以上		2	2	2						6
40年以上	1	3	5	2	4					15
41年以上										0
42年以上					1					1
43年以上										0
44年以上										0
45年以上										0
46年以上										0
合計（人）	1	7	22	61	168	60	51	63	0	433
平均（年）	40.0	38.3	35.9	32.5	25.6	16.9	10.9	3.9	0.0	21.2

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の採用、退職等の状況

職員数等 年度	職員数 (4月1日現在)	採用人員	退職人員
令和5年度	433	6	2
令和6年度	434	3	9
令和7年度	431	10	8
令和8年度	433	6	-

※ 定数外の常勤の職員を含み、短時間勤務の職員を除いています。

職員の教養実施状況

(1) 消防大学校

教養課程 年度	上級 幹部科	幹部科	警防科	予防科	救急科	救助科	火災 調査科	高度救助 コース	NBC コース	女性活躍 推進コース	査察業務 コース	合計
令和5年度						1				1		2
令和6年度	1	1								1		3
令和7年度		1		1							1	3

(単位:人)

(2) 県消防学校

教養課程 年度	初任教育	専科						幹部教育	特別教育	合計
		予防査察	警防	特殊災害	救急	救助	火災調査			
令和5年度	13		3		12	3	2	2	6	41
令和6年度	5	3	2	2	16	3		2	4	37
令和7年度	3		3		15	3	2	2	8	36

(単位:人)

(3) その他

- ・ 消防長訓示 毎月初旬、全職員を対象として通常点検訓示を実施しています。
- ・ 一般教養 職員を対象とした各種研修等を適宜実施しています。

消防音楽隊

儀式、式典及び諸行事に参加し、演奏によりその意義を高めるとともに市町民との融和を図り、消防業務の推進に寄与することを任務とし、平成13年4月1日に設立。消防関係行事をはじめ市町主催の各種行事にも出場し、広く市町民に対して消防に対する認識、理解を深め、防火・防災思想の普及啓発と消防のPRに努めています。

1 編 成

隊員編成

令和8年4月1日現在

隊長 1名	副隊長 3名	隊員 33名
-------	--------	--------

保有楽器

楽器名	数量	楽器名	数量
シンバル	1	ティンパニー	4
鉄琴	2	ドラム	1
木琴	1	バリトン	1
トランペット	5	電子ピアノ	1
サクソフォン	7	エレキベース	1
フレンチホルン	4	チューバ	2
トロンボーン	4	ユーフォニウム	2
クラリネット	6	コンサートドラム	1
ピッコロ	1	チャイム	1
フルート	3	シロホン	1

2 活動状況

令和7年度

種別 月	訓練回数		出演状況内訳			
	合同 訓練	パート 訓練	消 防 関 係	市 町 関 係	その他	備考
4月	2	4				
5月	2	4				
6月	2	4				
7月	3	4				
8月	2	4				
9月	3	4				
10月	3	4				
11月	3	4		1		かわじま音楽祭
12月	4	4	1			第19回定期演奏会
1月	2	4				
2月	2	4				
3月	2	4		1		令和8年第35回小江戸春まつり
合 計	30	48	1	2	0	

消防相互応援協定等の状況

令和8年4月1日現在

(1) 消防相互応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成10年12月25日	比企広域市町村圏組合
2	平成18年9月5日	さいたま市
3	平成18年11月1日	上尾市
4	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定
5	平成20年3月10日	坂戸・鶴ヶ島消防組合
6	平成25年4月1日	埼玉西部消防組合
7	平成27年10月30日	埼玉県央広域事務組合・桶川市・北本市
8	平成30年4月1日	入間東部地区事務組合
9	令和5年4月1日	高崎市・安中市消防組合

(2) 防災ヘリコプター応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成3年3月29日	埼玉県

(3) 関越自動車道・首都圏中央連絡自動車道における消防相互応援協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成31年4月1日	埼玉県下10消防機関

(4) 鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成18年12月1日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内鉄道事業者(11社)

(5) 災害時における高速自動車国道等の使用の取り扱いに関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成19年11月27日	埼玉県、埼玉県下全消防機関、県内埼玉DMAT登録医療機関

(6) 自衛隊又は米軍の航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和4年7月29日	埼玉県、埼玉県警察本部、航空自衛隊中部航空警戒管制団 他

(7) 埼玉医科大学総合医療センター場外離着陸場を利用した救急搬送に関する協定書

	締結年月日	締結団体名
1	平成26年2月1日	埼玉県、埼玉医科大学総合医療センター

(8) 救急ワークステーションの運営に関する基本協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年2月7日	埼玉医科大学総合医療センター

(9) 大規模火災発生時の消火用水搬送協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年4月1日	埼玉中央生コン協同組合、株式会社川村興産 東和アークス株式会社
2	平成30年10月1日	有限会社渋谷建材、有限会社貫井建材店

(10) 災害時に必要な燃料等の優先供給に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	平成30年4月1日	埼玉中央農業協同組合、埼玉中央農業協同組合川島基幹支店
2	平成30年7月1日	有限会社山口油材、相沢石油店、株式会社伊藤興産、永翔石油株式会社、有限会社中村石油、野口石油株式会社

(11) 災害時における消防活動の協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和2年3月19日	埼玉県解体業協会

(12) 災害時における無人航空機による情報収集活動の協力に関する協定

	締結年月日	締結団体名
1	令和2年11月1日	株式会社ジュンテクノサービス

予 防

法令に基づく各種届出状況

各年度

	防火管理		防災管理		防火対象物使用開始	電気設備	火を使用する設備等	催物
	選解任	消防計画	選解任	消防計画				
令和5年度	912	885	16	27	341	83	55	3
令和6年度	752	920	18	24	366	95	59	3
令和7年度	755	831	23	26	502	101	46	2

防火・防災管理者選任(解任)届出状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

区分			防火管理	防災管理	区分			防火管理	防災管理
(1)	イ	劇場等	1		(8)		図書館等	1	
	ロ	公会堂等	12		(9)	イ	特殊浴場		
(2)	イ	キャバレー等				ロ	一般浴場	1	
	ロ	遊技場等	14	1	(11)		神社・寺院等	1	
	ハ	性風俗特殊営業店舗等			(12)	イ	工場等	32	4
	ニ	カラオケボックス等	3			ロ	スタジオ		
(3)	イ	料理店等			(13)	イ	駐車場等		
	ロ	飲食店	76			ロ	航空機格納庫	1	
(4)		百貨店等	79		(14)		倉庫	26	
(5)	イ	旅館等	6		(15)		事務所等	63	
	ロ	共同住宅等	83		(16)	イ	特定複合用途防火対象物	243	14
(6)	イ	病院等	10	1		ロ	非特定複合用途防火対象物	9	
	ロ	特別養護老人ホーム等	29		(16-2)		地下街		
	ハ	老人デイサービスセンター等	32		(16-3)		準地下街		
	ニ	幼稚園等	7		(17)		文化財		
(7)		学校	26	3	合 計			755	23

消防用設備等設置届出状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

消防用設備等	署所(区域)	消防局	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
消火器		130	29	31	13	7	210
屋内消火栓設備		10	10	11	7	2	40
スプリンクラー設備		6	8	20	2		36
水噴霧消火設備							0
泡消火設備		1		1		1	3
不活性ガス消火設備							0
ハロゲン化物消火設備							0
粉末消火設備		4	1	1			6
屋外消火栓設備		2	3			1	6
動力消防ポンプ設備							0
自動火災報知設備		58	83	169	40	12	362
ガス漏れ火災警報設備							0
漏電火災警報器			1	4	3		8
消防機関へ通報する火災報知設備		3	1	5	4		13
非常警報設備		16	19	31	6	2	74
避難器具		26	9	9	3		47
誘導灯・誘導標識		65	84	100	30	17	296
消防用水		2					2
排煙設備		1					1
連結散水設備							0
連結送水管		4	2				6
非常用コンセント		2					2
無線通信補助設備							0
必要とされる防火安全性能を有する 消防の用に供する設備等 ※		5	5	1	4	1	16
合計		335	255	383	112	43	1128

※ パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、特定駐車場用泡消火設備、特定小規模施設用自動火災報知設備、複合型居住施設用自動火災報知設備、加圧防排煙設備、共同住宅用スプリンクラー設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、共同住宅用非常警報設備

建築物同意状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

防火対象物		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(1)	イ 劇場等														0
	ロ 公会堂等		1										1		2
(2)	イ キャバレー等														0
	ロ 遊技場等			1											1
	ハ 性風俗特殊営業店舗等														0
	ニ カラオケボックス等														0
(3)	イ 料理店等														0
	ロ 飲食店			1		3					1	1			6
(4)	百貨店等		1			1		2	1				1		6
(5)	イ 旅館等														0
	ロ 共同住宅等		10	4	9	14	13	8	7	4	6	13	14	9	111
(6)	イ 病院等						1	2	1						4
	ロ 特別養護老人ホーム等			1			1			1	1		4	1	9
	ハ 老人デイサービスセンター等			1	1		2	1				1			6
	ニ 幼稚園等														0
(7)	学校					1	1		1				1		4
(8)	図書館等														0
(9)	イ 特殊浴場														0
	ロ 一般浴場														0
(10)	停車場等														0
(11)	神社・寺院等					1				1					2
(12)	イ 工場等				2	1	2	1	2	2	2		2	2	16
	ロ スタジオ														0
(13)	イ 駐車場等					1								1	2
	ロ 航空機格納庫														0
(14)	倉庫		2		2	1	1	4	3				3		16
(15)	事務所等			3	3	4	3	3	4	1	4	4	1	5	35
(16)	イ 特定複合用途防火対象物		1	3	3	2	2	1	1		1	1	1		16
	ロ 非特定複合用途防火対象物														0
(16-2)	地下街														0
(16-3)	準地下街														0
(17)	文化財														0
危険物施設														1	1
住宅等(長屋、住宅の付属建築物及び併用住宅含む)			14	11	10	17	6	18	11	9	13	15	11	13	148
合 計			29	25	30	46	32	40	31	18	28	35	39	32	385

用途別防火対象物数

令和8年4月1日現在

防火対象物		署所(区域)	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	合計
(1)	イ	劇場等	3			3
	ロ	公会堂等	27	15	11	53
(2)	イ	キャバレー等				0
	ロ	遊技場等	6	11	4	21
	ハ	性風俗特殊営業店舗等				0
	ニ	カラオケボックス等		7	2	9
(3)	イ	料理店等				0
	ロ	飲食店	190	136	55	381
(4)		百貨店等	203	262	85	550
(5)	イ	旅館等	27	28	20	75
	ロ	共同住宅等	889	2,353	895	4,137
(6)	イ	病院等	57	64	39	160
	ロ	特別養護老人ホーム等	41	55	44	140
	ハ	老人デイサービスセンター等	102	143	93	338
	ニ	幼稚園等	19	18	10	47
(7)		学校	124	103	78	305
(8)		図書館等	11		1	12
(9)	イ	特殊浴場				0
	ロ	一般浴場	2	1		3
(10)		停車場等	1	7	7	15
(11)		神社・寺院等	69	50	17	136
(12)	イ	工場等	577	396	255	1,228
	ロ	スタジオ				0
(13)	イ	駐車場等	47	53	12	112
	ロ	航空機格納庫	3		1	4
(14)		倉庫	491	306	143	940
(15)		事務所等	756	737	382	1,875
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	299	449	115	863
	ロ	非特定複合用途防火対象物	110	237	62	409
(16-2)		地下街				0
(16-3)		準地下街				0
(17)		文化財	18			18
(18)		アーケード				0
(19)		市町村長の指定する山林				0
(20)		総務省令で定める舟車				0
合 計			4,072	5,431	2,331	11,834

防火対象物立入検査実施状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

防火対象物			署所(区域)	消防局	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	川島消防署	合計
(1)	イ	劇場等			1	1			2
	ロ	公会堂等		1	1	2	2	3	9
(2)	イ	キャバレー等				1			1
	ロ	遊技場等			3	3	1		7
	ハ	性風俗特殊営業店舗等							0
	ニ	カラオケボックス等				3			3
(3)	イ	料理店等							0
	ロ	飲食店			18	44	18	18	98
(4)		百貨店等		2	18	62	8	8	98
(5)	イ	旅館等		2	1	7			10
	ロ	共同住宅等				5			5
(6)	イ	病院等			6	23	10	3	42
	ロ	特別養護老人ホーム等			13	20	16	6	55
	ハ	老人デイサービスセンター等			22	44	24	2	92
	ニ	幼稚園等			4	4	2		10
(7)		学校			5	4	4	4	17
(8)		図書館等							0
(9)	イ	特殊浴場							0
	ロ	一般浴場							0
(10)		停車場等							0
(11)		神社・寺院等							0
(12)	イ	工場等			26	1	21	10	58
	ロ	スタジオ							0
(13)	イ	駐車場等							0
	ロ	航空機格納庫							0
(14)		倉庫			21	2	12	24	59
(15)		事務所等		1	3	86	10	3	103
(16)	イ	特定複合用途防火対象物		1	18	54	38	2	113
	ロ	非特定複合用途防火対象物			2	27	4	1	34
(16-2)		地下街							0
(16-3)		準地下街							0
(17)		文化財							0
(18)		アーケード							0
(19)		市町村長の指定する山林							0
(20)		総務省令で定める舟車							0
合 計				7	162	393	170	84	816

※査察執行状況、消防用設備等完成検査、防火対象物使用前検査含む

防火管理資格取得者数及び再講習状況

消防局が開催している講習

各年度

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
甲種防火管理講習	-	-	-
乙種防火管理講習	2回 53人	-	-
甲種防火管理再講習	1回 26人	-	-

消防局の開催要望に基づき、(一財)日本防火・防災協会が開催している講習

各年度

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
甲種防火管理講習	5回	6回	1回
甲種・乙種防火管理併催講習	4回	3回	8回
防火・防災管理併催講習	2回	2回	2回

広報活動の状況

防火教室・防火講話

令和7年4月1日～令和8年3月31日

消防局		川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
3回	175人	42回	3,301人	40回	3,569人	25回	2,152人	9回	861人	119回	10,058人

消防署見学・来署

令和7年4月1日～令和8年3月31日

川越北消防署		川越中央消防署		川越西消防署		川島消防署		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
18回	1,187人	18回	1,059人	12回	640人	5回	104人	53回	2,990人

火災予防普及啓発映像貸出

各年度

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数	12回	14回	11回
視聴者数	346人	439人	281人

危険物関係処理状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分		許可件数等			完成検査数		
		設 置	変 更	合 計	設 置	変 更	合 計
製 造 所			35	35		37	37
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	2	9	11	3	9	12
	屋外タンク貯蔵所		4	4		3	3
	屋内タンク貯蔵所			0			0
	地下タンク貯蔵所	2	5	7	5	6	11
	簡易タンク貯蔵所			0			0
	移動タンク貯蔵所	1		1	1		1
	屋外貯蔵所	5	1	6	4	1	5
	小計	10	19	29	13	19	32
取 扱 所	給油取扱所		7	7	1	7	8
	販売取扱所			0			0
	一般取扱所	5	8	13	3	12	15
	小計	5	15	20	4	19	23
合計		15	69	84	17	75	92

少量危険 物等届出	炉ボイラー 等届出	圧縮アセチレン ガス等届出	仮貯蔵 仮取扱承認	仮使用承認	完成検査前検査	
					水張	水圧
68	46	43	13	62		

数量別危険物製造所等施設数

令和8年4月1日現在

倍 数 区 分		5 倍 以 下	5 倍 を超え 10 倍 以 下	10 倍 を超え 50 倍 以 下	50 倍 を超え 100倍 以 下	100倍 を超え 150倍 以 下	150倍 を超え 200倍 以 下	200倍 を超え 1,000倍 以 下	1,000倍 を超え 5,000倍 以 下	5,000倍 を超え 10,000倍 以 下	合 計
製 造 所			8	8	8	3	2	3			32
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	64	40	25	7	18	2	10	7		173
	屋外タンク貯蔵所	12	12	37	20	5	3	9			98
	屋内タンク貯蔵所	13	5	1							19
	地下タンク貯蔵所	57	15	41	10	3	5	22			153
	簡易タンク貯蔵所	1									1
	移動タンク貯蔵所	28	1	5	9						43
	屋外貯蔵所	5	4	10							19
	小 計	180	77	119	46	26	10	41	7	0	506
取 扱 所	給油取扱所	1	4	32	6	4	2	35			84
	販売取扱所	1									1
	一般取扱所	41	34	21	11	1	1	3			112
	小 計	43	38	53	17	5	3	38	0	0	197
合計		223	123	180	71	34	15	82	7	0	735

類別危険物施設状況

令和8年4月1日現在

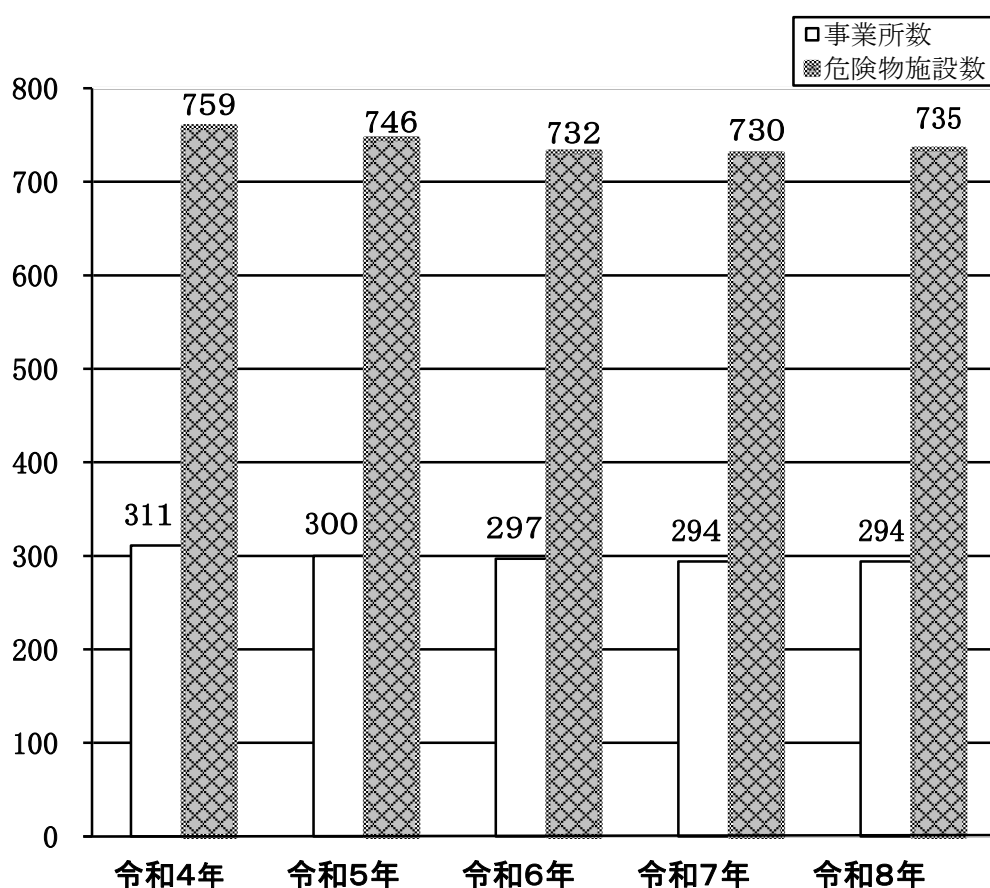
区 分 \ 類 別		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在	合計
製造所					16			16	32
貯蔵所	屋内貯蔵所	1			152	7		13	173
	屋外タンク貯蔵所				97	1			98
	屋内タンク貯蔵所				19				19
	地下タンク貯蔵所				153				153
	簡易タンク貯蔵所				1				1
	移動タンク貯蔵所				43				43
	屋外貯蔵所				19				19
	小 計	1	0	0	484	8	0	13	506
取扱所	給油取扱所				84				84
	販売取扱所				1				1
	一般取扱所				104	1		7	112
	小 計	0	0	0	189	1	0	7	197
合計		1	0	0	689	9	0	36	735

備 考 危険物貯蔵・取扱、類別の主な内訳

第1類 塩素酸ナトリウム、過塩素酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、無水クロル酸
 第2類 硫黄、金属粉
 第3類 ナトリウム、カリウム
 第4類 ガソリン、灯油、軽油、重油、エチルアルコール
 さく酸エチル、キシレン、トルエン
 第5類 硝化綿、ニトロ化合物、アゾ化合物、ヒドロキシルアミン
 第6類 濃硝酸、過酸化水素

危険物事業所・施設数の推移

各年4月1日現在



火薬類施設状況

令和8年4月1日現在

施設別 \ 署別	川越北消防署	川越中央消防署	川越西消防署	合計
火薬庫			7	7
火薬庫外貯蔵庫	2	5		7
販売所		1		1

火薬類申請届出等状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

申請届出等種別	件数
火薬庫保安検査申請	1
定期自主検査計画届/報告書	3
火薬類安定度試験結果報告書	4
火薬類出納報告書	8
火薬類消費許可申請(煙火)	1
火薬類譲受・消費許可申請	2
火薬類譲渡許可申請	0
火薬類販売報告書	1
その他の届出/報告書	3

警

防

所属別消防車両一覧表

令和8年4月1日現在

配置場所	車両区分	年式	購入年月日	自動車登録番号	備 考
消防局	指令車	平成28 年	H28・7・25	川越 800 さ 2377	
	指令車	平成28 年	H28・7・25	川越 800 さ 2378	
	指令車	平成28 年	H27・8・21	川越 800 さ 2139	
	指揮車	平成25 年	H25・3・15	川越 830 さ 2406	
	調査車	平成21 年	H22・1・20	川越 800 さ 909	
	救援車	令和 7 年	R 7・8・26	川越 800 さ 2501	トイレカー
	連絡車	令和 4 年	R 4・8・8	川越 500 ね 934	
	連絡車	平成22 年	H22・3・26	川越 480 い 2623	
	連絡車	平成18 年	H18・10・24	川越 500 さ 568	
	連絡車	平成24 年	H24・9・26	川越 300 そ 8315	
	連絡車	平成27 年	H27・8・18	川越 300 ち 6918	
	連絡車	平成27 年	H27・7・24	熊谷 480 す 8524	
川越北消防署	赤バイ	平成17 年	H17・11・21	0 川越 あ 1	
	化学車	平成26 年	H26・1・27	川越 830 さ 2504	水1,500ℓ 薬液500ℓ
	消防ポンプ自動車	平成27 年	H28・1・27	川越 830 さ 2706	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	平成20 年	H20・2・29	川越 800 は 33	地上高15.3m 消防ポンプ付
	警防車	平成29 年	H29・3・10	川越 800 さ 2503	
	救急車	令和 6 年	R 6・2・19	川越 830 せ 2301	
	救急車	平成30 年	H30・12・11	川越 830 す 1802	
	広報車	平成25 年	H25・8・15	川越 800 さ 1721	
	マイクロバス	平成19 年	H19・10・2	川越 200 さ 25	
	連絡車	平成22 年	H22・3・25	川越 480 い 2622	
	連絡車	令和 6 年	R 6・1・31	川越 480 き 1307	
	起震車	平成18 年	H18・1・31	熊谷 800 さ 9737	
南古谷分署	水槽付消防ポンプ自動車	平成23 年	H23・1・24	川越 830 は 55	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	平成27 年	H27・12・18	川越 830 す 2705	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	警防車	令和 6 年	R 7・5・26	川越 800 さ 4376	
	救急車	令和 2 年	R 2・12・4	川越 830 さ 2003	
	救急車	令和 5 年	R 5・2・1	川越 830 た 2201	
	広報車	平成27 年	H27・8・21	川越 800 さ 2140	
川島分署	水槽付消防ポンプ自動車	平成31 年	H31・1・22	熊谷 830 す 1804	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	平成28 年	H28・12・14	熊谷 830 そ 2805	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	平成21 年	H21・2・23	熊谷 800 は 623	
	警防車	平成22 年	H22・3・25	熊谷 800 す 2793	
	救急車	平成31 年	H31・2・5	熊谷 830 そ 1805	
	広報車	平成27 年	H27・8・21	熊谷 800 す 5606	
川越中央消防署	化学車	平成29 年	H29・1・23	川越 830 さ 2807	水1,500ℓ 薬液500ℓ
	消防ポンプ自動車	令和 2 年	R 3・1・28	川越 830 さ 2004	水1,300ℓ
	消防ポンプ自動車	平成29 年	H29・12・14	川越 830 さ 2903	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	はしご車	平成27 年	H27・3・13	川越 830 さ 2601	地上高30.5m
	救助工作車	平成24 年	H24・3・29	川越 830 す 2301	
	警防車	平成27 年	H27・11・13	川越 800 さ 2194	
	救急車	令和 2 年	R 2・11・16	川越 830 た 2002	
	救急車	令和 7 年	R 7・2・13	川越 830 せ 2401	
	広報車	平成28 年	H28・7・21	川越 800 さ 2373	
	連絡車	平成18 年	H18・12・4	川越 480 あ 776	
高階分署	連絡車	令和 3 年	R 3・11・24	川越 480 か 6209	
	消防ポンプ自動車	令和 7 年	R 8・1・28	川越 830 す 2505	水 900ℓ
	消防ポンプ自動車	平成24 年	H25・1・15	川越 830 さ 2402	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	救急車	令和 2 年	R 2・10・22	川越 830 す 2001	
	救急車	令和 7 年	R 8・2・10	川越 830 す 2504	
大東分署	広報車	平成18 年	H18・11・7	川越 800 さ 36	
	化学車	平成26 年	H26・2・6	川越 830 さ 2505	水1,500ℓ 薬液500ℓ
	消防ポンプ自動車	平成28 年	H29・1・12	川越 830 さ 2806	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	水槽車	平成23 年	H23・3・17	川越 800 は 58	水5,000ℓ
	救急車	令和 2 年	R 2・1・30	川越 830 す 1901	
川越西消防署	広報車	平成22 年	H22・3・26	川越 800 さ 963	
	連絡車	平成22 年	H22・3・25	川越 480 い 2624	
	水槽付消防ポンプ自動車	令和 7 年	R 7・1・27	川越 830 た 2401	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	平成30 年	H30・11・16	川越 830 す 1801	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	消防ポンプ自動車	平成20 年	H20・2・27	川越 800 さ 470	
	はしご車	令和 2 年	R 2・2・25	川越 830 す 1902	地上高35.3m
	救急車	令和 7 年	R 7・2・25	川越 830 す 2402	
名細分署	救急車	令和 5 年	R 5・10・12	川越 830 せ 2203	
	広報車	平成22 年	H22・3・26	川越 800 さ 964	
	連絡車	平成22 年	H22・3・25	川越 480 い 2624	
	水槽付消防ポンプ自動車	平成30 年	H30・12・17	川越 480 さ 1803	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	令和 2 年	R 2・12・24	川越 830 さ 2005	水 600ℓ 圧縮空気泡消火装置付
	救助工作車	平成30 年	H30・3・6	川越 830 さ 2904	
	警防車	平成21 年	H21・3・3	川越 800 さ 712	
	救急車	令和 7 年	R 8・1・28	川越 830 す 2503	
	救急車	令和 5 年	R 5・2・15	川越 830 す 2202	
	支援車	令和 7 年	R 7・11・21	川越 830 す 2502	
	広報車	令和 7 年	R 7・3・13	川越 800 さ 4317	

消防水利の状況

令和8年4月1日現在

市 町	地 区 名	消 火 栓 （ 基 ）	防火水そう(基)												プ ー ル ・ 池 等
			20t未満			20t以上 40t未満			40t以上			合計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	880	17		17	28	5	33	48	155	203	93	160	253	10
	市街地南部	502	2		2	29	5	34	33	95	128	64	100	164	6
	芳 野 地 区	306	2		2	30		30	38	29	67	70	29	99	2
	古 谷 地 区	261	5	1	6	33	1	34	10	22	32	48	24	72	3
	南古谷地区	394				31	1	32	25	47	72	56	48	104	5
	高 階 地 区	511	7		7	51	7	58	29	36	65	87	43	130	10
	福 原 地 区	441	7		7	53	4	57	43	66	109	103	70	173	9
	大 東 地 区	646	5		5	59	3	62	50	90	140	114	93	207	9
	山 田 地 区	246				18	2	20	14	27	41	32	29	61	1
	名 細 地 区	557				61	7	68	52	57	109	113	64	177	12
	霞ヶ関地区	908	8		8	54	1	55	100	72	172	162	73	235	13
	小 計	5,652	53	1	54	447	36	483	442	696	1,138	942	733	1,675	80
川 島 町	中 山 地 区	149				11	5	16	20	81	101	31	86	117	2
	伊 草 地 区	96				13	3	16	19	16	35	32	19	51	2
	三保谷地区	75				3		3	5	10	15	8	10	18	1
	出 丸 地 区	57				3		3	3	7	10	6	7	13	
	八ッ保地区	74				1	1	2	4	12	16	5	13	18	
	小見野地区	53				9		9	4	3	7	13	3	16	
	小 計	504				40	9	49	55	129	184	95	138	233	5
合 計		6,156	53	1	54	487	45	532	497	825	1,322	1,037	871	1,908	85

警防関係各種届出状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

届出区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届	14	9	26	16	7	12	33	32	61	47	16	25	298
煙火打上げ・仕掛け届			2	6		4		1					13
水道断減水届	4	20	13	6	2	2	1			1		1	50
道路工事届	48	40	40	55	33	39	54	38	39	50	65	50	551
合 計	66	69	81	83	42	57	88	71	100	98	81	76	912

事業所消防訓練派遣状況

令和7年4月1日～令和8年3月31日

事業所別 \ 訓練	消火訓練		通報訓練		避難訓練		総合訓練		合計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
百貨店							4	95	4	95
学 校	1	260	1	260			17	8,024	19	8,544
工場・作業場	4	220	2	170	1	30	27	5,695	34	6,115
その他	18	908	6	340	5	362	239	12,933	268	14,543
合 計	23	1,388	9	770	6	392	287	26,747	325	29,297

※表中の数値は、消防職員を派遣した事業所の消防訓練の回数と、当該訓練に参加した事業所の関係者の延人員です。

中高層建築物の状況

令和8年4月1日現在

階 数 防火対象物		4階		5階		6階		7階		8階		9階		10階		11階		12階		13階		14階		15階		合 計
		川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	川 越	川 島	計
1	イ 劇場、映画館 演芸場、観覧場																									
	ロ 公会堂、集会場	2 (1)		1																						3 (1)
2	イ キャバレー、カフェー ナイトクラブ																									
	ロ 遊技場、 ダンスホール	4		1 (1)																						5 (1)
	ハ 風俗関連特殊営業 を営む店舗																									
	ニ カラオケボックス、複合 カフェ、個室ビデオ等			1 (1)																						1 (1)
3	イ 待合、料理店																									
	ロ 飲食店	4 (1)		1																						5 (1)
4	百貨店、マーケット、店舗	7 (3)		3 (1)				1																		11 (4)
5	イ 旅館、ホテル 宿泊所	3 (1)		8 (4)		2 (1)		1				1		2		1										18 (6)
	ロ 寄宿舎、下宿 共同住宅	249 (127)		220 (58)	1	53 (19)		36 (14)		45 (16)		22 (13)		24 (14)		19 (9)		11 (4)		7 (1)		17 (7)		25 (6)		729 (288)
6	イ 病院、診療所 助産所	11 (4)		5 (1)		4						1		1 (1)												22 (6)
	ロ 特別養護老人ホーム 認 知症グループホーム等	8 (3)		3 (3)		1 (1)																				12 (7)
	ハ 児童福祉施設、老人 デイサービスセンター等	1 (1)		1 (1)																						2 (2)
	ニ 幼稚園 特別支援学校																									
7	小、中、高、大学校等	73 (8)		19 (6)		3		3 (2)						1												99 (16)
8	図書館、博物館 美術館	1																								1
9	イ 蒸気、熱気浴場等																									
	ロ その他の公衆浴場																									
10	車両の停車場等																									
11	神社、寺院、教会																									
12	イ 工場、作業所	34 (8)		5 (3)	2	1				1 (1)																43 (12)
	ロ 映画スタジオ テレビスタジオ																									
13	イ 自動車車庫	4 (1)																								4 (1)
	ロ 格納庫																									
14	倉庫	16 (5)	1	6 (1)	3	1																				27 (6)
15	各項に該当しない 事業所	46 (18)	1	31 (7)	3	14 (3)		8 (4)		6 (1)		1														110 (33)
16	イ 特定用途複合用途防 火対象物	91 (29)	1	69 (22)		36 (13)		21 (8)		15 (5)		9 (2)		2 (1)		3 (1)				1		1		2 (1)		251 (82)
	ロ その他複合用途防 火対象物	41 (25)	2	22 (9)		14 (7)	1	6 (4)		3 (3)		1 (1)		2 (2)		3 (1)					3					98 (52)
一般住宅																										
合 計		595 (235)	5	396 (118)	9	129 (44)	1	76 (32)		70 (26)		35 (16)		32 (18)		26 (11)		11 (4)		8 (1)		21 (7)		27 (7)		1,441 (519)

※ ()内数値は、はしご車部署不能数

※ 防火対象物の別覧については、消防法施行令別表第1参照

火災出場の状況

令和7年中

署所 月	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
1月	3	9	2	11	4	28	3	34	3	23	2	10							17	115
2月	6	18	7	38	3	18	5	41	3	20	4	27	5	17	3	19	3	23	39	221
3月	3	9	3	17	5	28	4	31	2	11	1	7			2	15	1	4	21	122
4月	5	16	5	37	3	20	6	47	3	11	2	10	2	11	4	17	2	17	32	186
5月	1	3	1	4	1	6	2	17	1	3	1	7	4	15					11	55
6月	2	6	4	29			1	13	1	6	1	6			1	7	1	7	11	74
7月	5	15	5	28	3	16	5	53	3	16	2	11			4	16	1	7	28	162
8月	4	12	6	39	2	6	4	46	4	23	2	12			2	11	4	19	28	168
9月	6	18	3	15	1	7	7	49	3	19	4	25	5	19	2	12	2	12	33	176
10月	3	9					6	37	1	7	1	4	1	4	2	7	1	8	15	76
11月	5	15	1	8	1	6	2	18					2	11	3	14	1	7	15	79
12月	3	12	1	4	2	10	6	42	1	7	2	6							15	81
合計	46	142	38	230	25	145	51	428	25	146	22	125	19	77	23	118	16	104	265	1,515

その他出場の状況

令和7年中

署所 種別	消防局		川越北消防署		南古谷分署		川越中央消防署		高階分署		大東分署		川越西消防署		名細分署		川島消防署		合 計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
風水害等																				
演習・訓練	13	32	7	31	12	62	10	71	1	3	27	87	4	17	4	17	9	59	87	379
広報・指導	9	11	64	227	53	142	63	195	76	246	97	319	42	137	37	146	41	155	482	1,578
警防調査			69	242	61	197	66	244	72	245	82	270	66	246	40	144	61	231	517	1,819
火災調査	28	67	21	75	11	43	18	85	17	71	10	40	4	20	3	12	12	67	124	480
特別警戒	4	22	4	22	4	14	15	69	1	3	8	26	14	29	2	6	6	23	58	214
捜索			5	24			1	4							3	27			9	55
予防査察	286	535	81	243	54	173	174	453	71	235	80	252	160	403	53	204	60	222	1,019	2,185
誤報等	28	84	17	90	57	223	130	727	79	314	77	317	28	112	21	107	21	87	458	2,061
その他			190	727	149	551	192	759	161	594	214	790	163	615	134	521	189	652	1,392	5,209
合計	368	751	458	1,681	401	1,405	669	2,607	478	1,711	595	2,101	481	1,579	297	1,184	399	1,496	4,146	13,980

現有消防機器

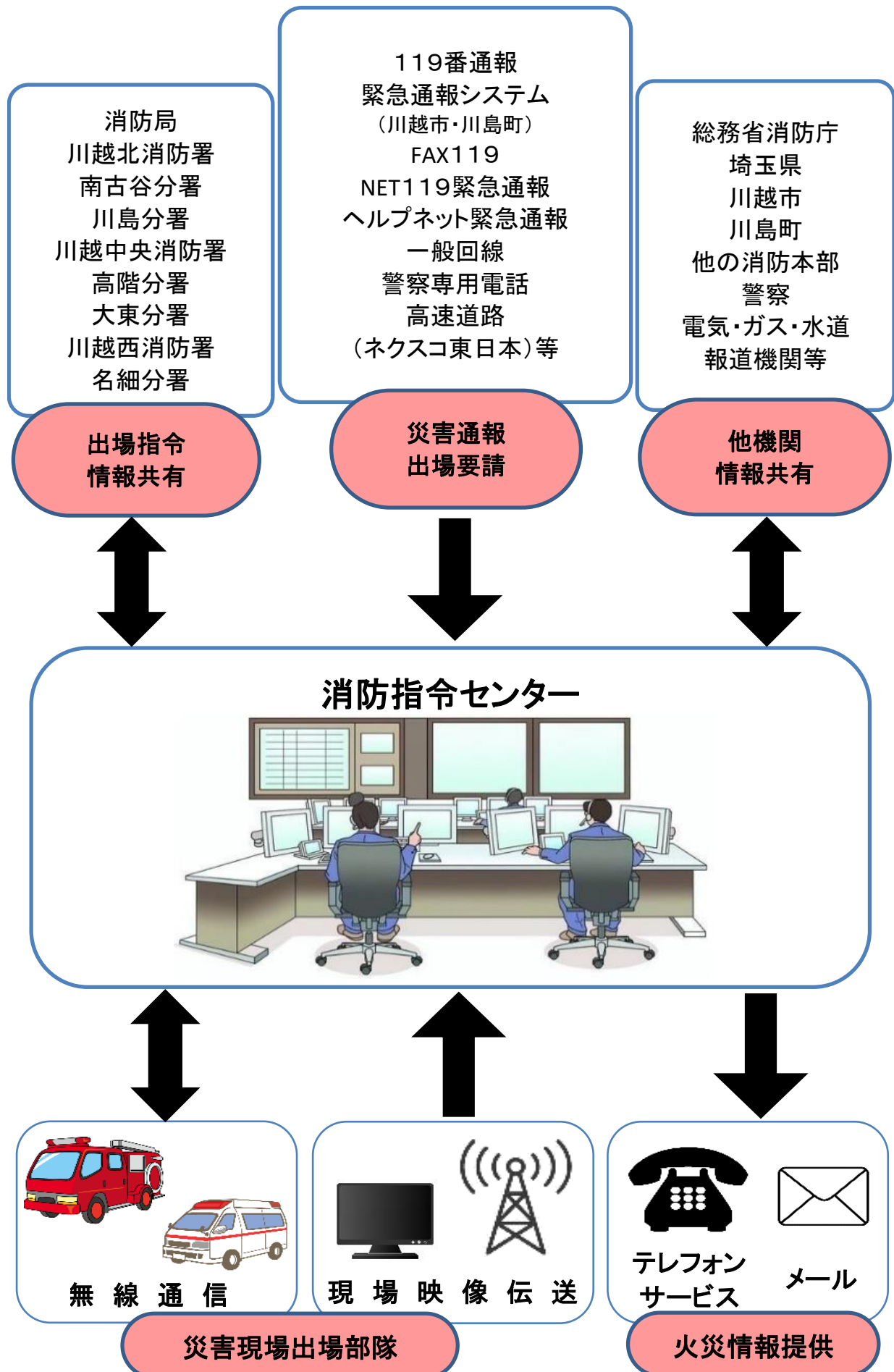
令和8年4月1日現在

署 所 区 分 器 具		消 防 局	川 越 北 消 防 署	南 古 谷 分 署	川 島 分 署	川 越 中 央 消 防 署	高 階 分 署	大 東 分 署	川 越 西 消 防 署	名 細 分 署	合 計
放水器具	ガンタイプノズル		5	5	5	11	6	6	8	8	54
	無反動ノズル		8	5	4	6	5	8	9	4	49
	放水銃		2			3		1	1		7
	東消式簡易発泡器		1	1		1		1			4
	ピックアップ式泡ノズル			1	1		1		1	1	5
	エアフォームノズル		3			3		3			9
救助器具	救命索発射銃				2	1				1	4
	可搬式ウインチ		2		3	1				1	7
	油圧ジャッキ				1	2				2	5
	マット型空気ジャッキ				1	1				1	3
	大型油圧スプレッダー				1	1				1	3
	画像探索機					1					1
	簡易画像探索機				1	1				1	3
	熱画像直視装置	1	2	1	2	2	1	1	1	2	13
	地中音響探知機					1					1
	夜間用暗視装置				1	2				1	4
	二酸化炭素探査装置					1					1
	地震警報器					1					1
	電磁波探査装置					2					2
破壊器具	エンジンカッター		1	1	2	4	1	1	2	3	15
	チェーンソー		1	1	3	3	1	1	2	2	14
	大型油圧切断機				1	1				1	3
	エアカッター					2				2	4
	エアソー				2	1				1	4
	ハンマードリル				2	2				3	7
	削岩機				1	1				1	3
	酸素溶断機				1	1				1	3
水難救助器具	救命ボート		1	1	1	1				3	7
	船外機		1	1	1	2				2	7
	潜水器具									15	15
	人命検索スバリ		5	2	2	2				1	12
身体保護器具	空気呼吸器		17	10	16	25	10	11	19	16	124
	酸素呼吸器				5	5				5	15
	陽圧式化学防護服				5	13				5	23
	耐熱防護服		2	2	2	4		2		2	14
	放射線防護服				5	5				5	15
	耐電用防護服		4		2	6			4	2	18
測定器	ガス検知器		1	1	2	2	2	1	1	2	12
	放射線測定器		3	2	4	5	1	1	2	4	22
	ポケット線量計		5	5	10	15	5	5	5	13	63
その他	除染シャワー		1		1	1				1	4
	除染材散布器		2			4				2	8
	エアータント		2	2						4	8

指

令

消 防 指 令 通 信 系 統 図



119番受信回数

令和7年中

種別 月	合計	火災	救急	救助	警戒	その他							
						病院案内	いたずら	誤報	同報	通報訓練	回線試験	転送	その他
合 計	33,030 (18,469)	138 (63)	22,241 (12,690)	112 (68)	668 (208)	403 (303)	28 (13)	1,322 (977)	700 (440)	988 (178)	536 (80)	1,021 (997)	4,873 (2,452)
1 月	3,126 (1,758)	10 (3)	2,101 (1,168)	5 (2)	46 (20)	69 (53)	2 (1)	114 (87)	67 (50)	40 (6)	60 (23)	94 (93)	518 (252)
2 月	2,660 (1,412)	17 (7)	1,788 (984)	11 (6)	52 (23)	37 (25)	1	87 (69)	45 (25)	79 (12)	37 (1)	66 (62)	440 (198)
3 月	2,754 (1,427)	12 (4)	1,842 (1,004)	4 (2)	51 (12)	30 (17)		103 (79)	59 (33)	124 (13)	57 (7)	72 (72)	400 (184)
4 月	2,462 (1,385)	11 (6)	1,662 (960)	10 (3)	39 (11)	20 (13)		119 (86)	69 (52)	47 (9)	49 (3)	86 (84)	350 (158)
5 月	2,442 (1,327)	5 (2)	1,678 (939)	12 (8)	64 (20)	34 (29)		89 (67)	28 (16)	80 (10)	60 (19)	74 (73)	318 (144)
6 月	2,522 (1,400)	9 (5)	1,697 (960)	10 (6)	64 (24)	39 (30)		107 (81)	42 (24)	89 (18)	31 (3)	72 (71)	362 (178)
7 月	3,159 (1,804)	14 (7)	2,095 (1,176)	12 (9)	67 (13)	32 (23)	8 (6)	141 (107)	72 (41)	56 (9)	37	112 (106)	513 (307)
8 月	2,859 (1,686)	11 (7)	1,987 (1,183)	8 (5)	77 (27)	35 (25)	2 (1)	137 (104)	74 (44)	36 (9)	26	86 (83)	380 (198)
9 月	2,574 (1,458)	15 (9)	1,707 (986)	8 (6)	52 (16)	26 (23)	6 (3)	92 (76)	64 (41)	108 (22)	37	92 (92)	367 (184)
10 月	2,707 (1,538)	10 (2)	1,804 (1,047)	12 (9)	56 (17)	25 (19)		113 (84)	54 (39)	112 (24)	63 (10)	81 (80)	377 (207)
11 月	2,852 (1,614)	13 (8)	1,907 (1,124)	9 (5)	42 (10)	32 (27)	4 (1)	109 (68)	60 (33)	146 (33)	54 (13)	97 (93)	379 (199)
12 月	2,913 (1,660)	11 (3)	1,973 (1,159)	11 (7)	58 (15)	24 (19)	5 (1)	111 (69)	66 (42)	71 (13)	25 (1)	89 (88)	469 (243)

※()は、携帯電話による119番通報の受信状況を内書きしています。

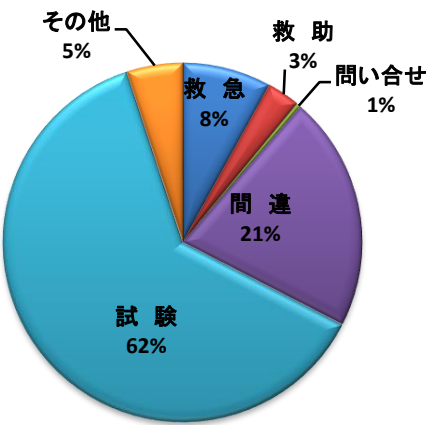
緊急通報システム受信状況

令和7年中

種別	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災														
救急		9	3	1	8	3	5	7	10	11	14	2	8	81
救助		4	3	7	2	3		2	4		2		3	30
その他	問い合わせ		1	2								1		4
	間違	3	27	28	26	22	20	7	20	16	14	19	12	214
	試験	39	200	219	56	28	10	18	9	13	18	9	11	630
	その他	9	9	14	3	4	1	3	1		5		2	51
合計		64	243	271	95	60	36	37	44	40	53	31	36	1010

※緊急通報システム
川越市・川島町では、ひとり暮らし等の高齢者の方に電話機やペンダント型の発信ボタンを押すことにより消防指令センターへ自動で通報する緊急通報システムの装置貸与が行われています。

緊急通報システム受信種別割合



無線設備状況

基地局		デジタル無線移動局		
デジタル無線基地局(出力10W)	1 基	可搬型無線機(出力10W)	2 台	活動波:4波 主運用波:1波 統制波:3波
		車載型無線機(出力10W)	59 台	
		携帯型無線機(出力5W)	64 台	
		アナログ無線移動局		
		署活系無線機(1W)	95 台	3波

無線機配備状況

消防局	可搬型無線機	2台
	車載型無線機	7台
	携帯型無線機	10台
	署活系無線機	9台
川越北消防署	車載型無線機	6台
	携帯型無線機	6台
	署活系無線機	11台
南古谷分署	車載型無線機	6台
	携帯型無線機	5台
	署活系無線機	9台
川島分署	車載型無線機	6台
	携帯型無線機	7台
	署活系無線機	9台

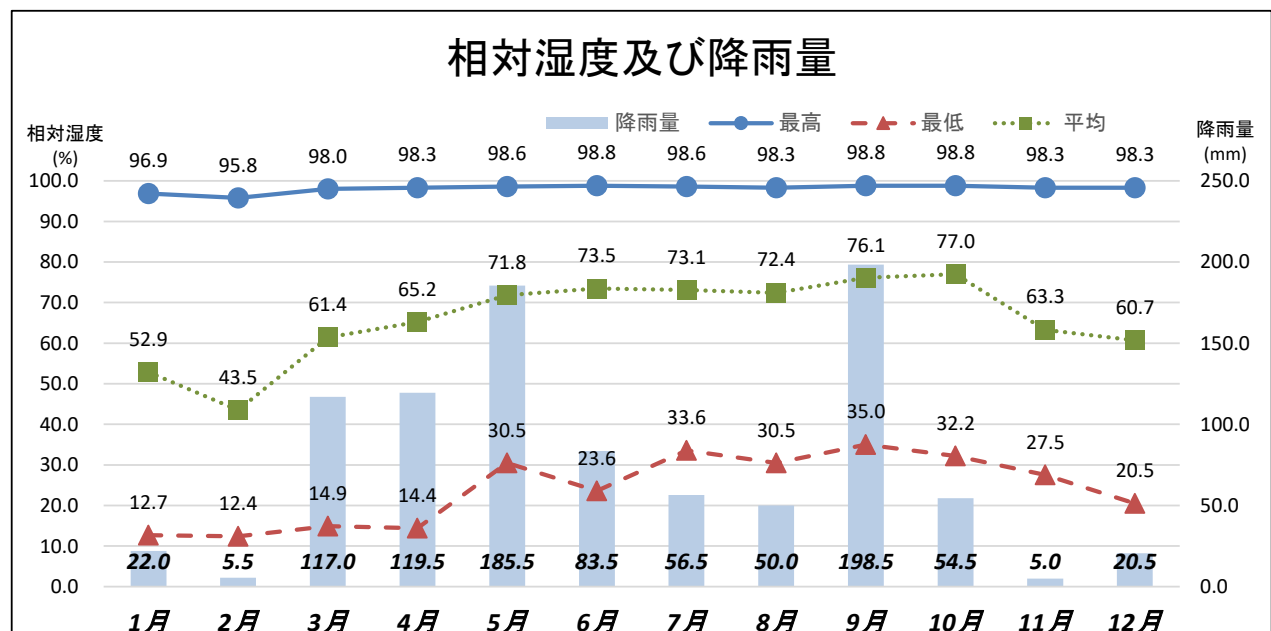
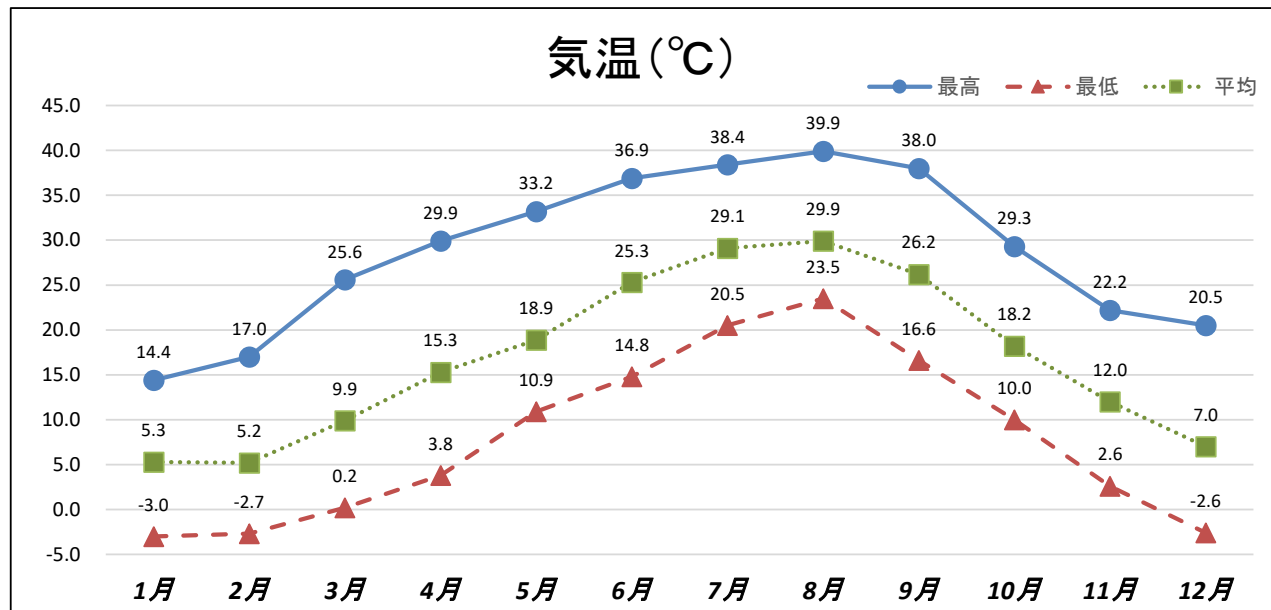
川越中央消防署	車載型無線機	9台
	携帯型無線機	10台
	署活系無線機	15台
高階分署	車載型無線機	5台
	携帯型無線機	5台
	署活系無線機	9台
大東分署	車載型無線機	5台
	携帯型無線機	5台
	署活系無線機	9台
川越西消防署	車載型無線機	7台
	携帯型無線機	8台
	署活系無線機	13台
名細分署	車載型無線機	8台
	携帯型無線機	8台
	署活系無線機	11台

気象観測状況

※観測地 川越市神明町48番地4 旧川越地区消防局

令和 7 年

種別 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速 (m/s)	最大瞬間	18.3	26.0	19.0	16.5	15.2	13.1	16.7	27.6	19.1	13.1	21.6	20.5
	平均	1.9	2.4	2.4	2.5	2.3	2.0	2.5	2.0	1.9	1.8	1.8	1.9
気温 (℃)	最高	14.4	17.0	25.6	29.9	33.2	36.9	38.4	39.9	38.0	29.3	22.2	20.5
	最低	-3.0	-2.7	0.2	3.8	10.9	14.8	20.5	23.5	16.6	10.0	2.6	-2.6
	平均	5.3	5.2	9.9	15.3	18.9	25.3	29.1	29.9	26.2	18.2	12.0	7.0
相対湿度 (%)	最高	96.9	95.8	98.0	98.3	98.6	98.8	98.6	98.3	98.8	98.8	98.3	98.3
	最低	12.7	12.4	14.9	14.4	30.5	23.6	33.6	30.5	35.0	32.2	27.5	20.5
	平均	52.9	43.5	61.4	65.2	71.8	73.5	73.1	72.4	76.1	77.0	63.3	60.7
降雨 (mm)	日数	5	1	13	10	14	10	10	8	11	12	3	6
	降雨量	22.0	5.5	117.0	119.5	185.5	83.5	56.5	50.0	198.5	54.5	5.0	20.5
	日最高	15.0	5.5	35.5	45.5	74.5	25.5	23.5	24.0	78.0	26.0	3.0	8.0



火

災

令和7年中の火災概要

1 火災件数

令和7年中の火災件数は103件で、前年に比較して2件増加している。

また、出火率(人口1万人あたりの出火件数)は約2.8件となっている。

火災種別の構成比は、建物火災が全体の約51.5%(53件)で、最も高い比率を占めている。

次いで、その他の火災(屋外のゴミ屑や枯草等)の約38.8%(40件)、車両火災の約9.7%(10件)となっている。

特に建物火災53件のうち住宅・共同住宅における火災が約67.9%(36件)を占めている。

2 損害額

損害額は1億2431万3千円で、前年と比較し1億852万8千円の減少となり、このうち建物火災の損害額は1億1713万6千円で、全体の約94.2%を占めている。

なお、建物火災の損害額は、建物火災1件あたり約221万円で、1日あたりでは約32万1千円となっている。

3 建物焼損面積

建物焼損床面積は1,627㎡で、前年と比較して781㎡の減少となり、建物火災1件あたりの焼損床面積は約30.7㎡で、前年と比較して約13.8㎡の減少となっている。

4 出火原因

出火原因は多い順に、放火が12件(約11.7%)、たばこが11件(約10.7%)、配線器具が9件(約8.7%)となっている。

5 死傷者

火災による死者は3人発生し、前年と比較して1人の減少となっている。

負傷者は12人発生し、前年と比較して1人の増加となっている。

火災の概況

令和7年中

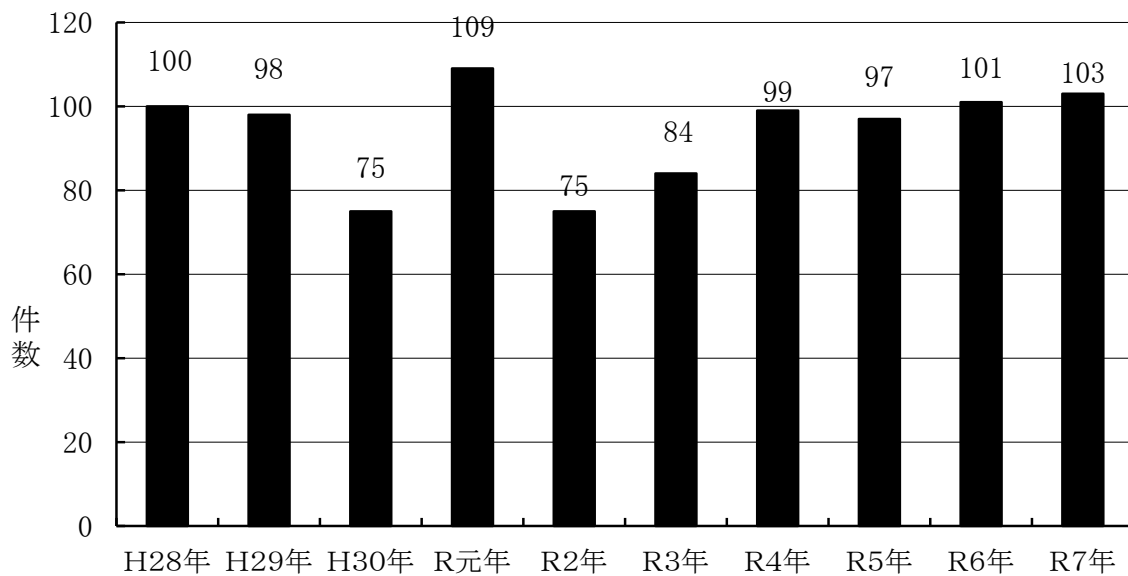
			川越地区	川越市	川島町
火災件数			103 件	87 件	16 件
	建物		53 件	47 件	6 件
	林野		0 件	0 件	0 件
	車両		10 件	7 件	3 件
	船舶		0 件	0 件	0 件
	航空機		0 件	0 件	0 件
	その他		40 件	33 件	7 件
焼損棟数			78 棟	65 棟	13 棟
	全焼		13 棟	10 棟	3 棟
	半焼		6 棟	6 棟	0 棟
	部分焼		22 棟	17 棟	5 棟
	ぼや		37 棟	32 棟	5 棟
建物焼損床面積			1,627 m ²	1,315 m ²	312 m ²
建物焼損表面積			93 m ²	65 m ²	28 m ²
林野焼損面積			0 a	0 a	0 a
死傷者			15 人	14 人	1 人
	死者		3 人	3 人	0 人
	負傷者		12 人	11 人	1 人
り災世帯			46 世帯	43 世帯	3 世帯
	全損		6 世帯	5 世帯	1 世帯
	半損		5 世帯	5 世帯	0 世帯
	小損		35 世帯	33 世帯	2 世帯
り災人員			102 人	94 人	8 人
損害額			124,313 千円	115,375 千円	8,938 千円
	建 物	建築物	83,806 千円	78,735 千円	5,071 千円
		収容物	33,330 千円	32,494 千円	836 千円
	林野		0 千円	0 千円	0 千円
	車両		3,582 千円	2,861 千円	721 千円
	航空機		0 千円	0 千円	0 千円
	その他		3,595 千円	1,285 千円	2,310 千円
出火率			2.8 件	2.5 件	8.6 件

※ 出火率は人口1万人当りの火災件数

火災件数の推移（１０年間）

各年

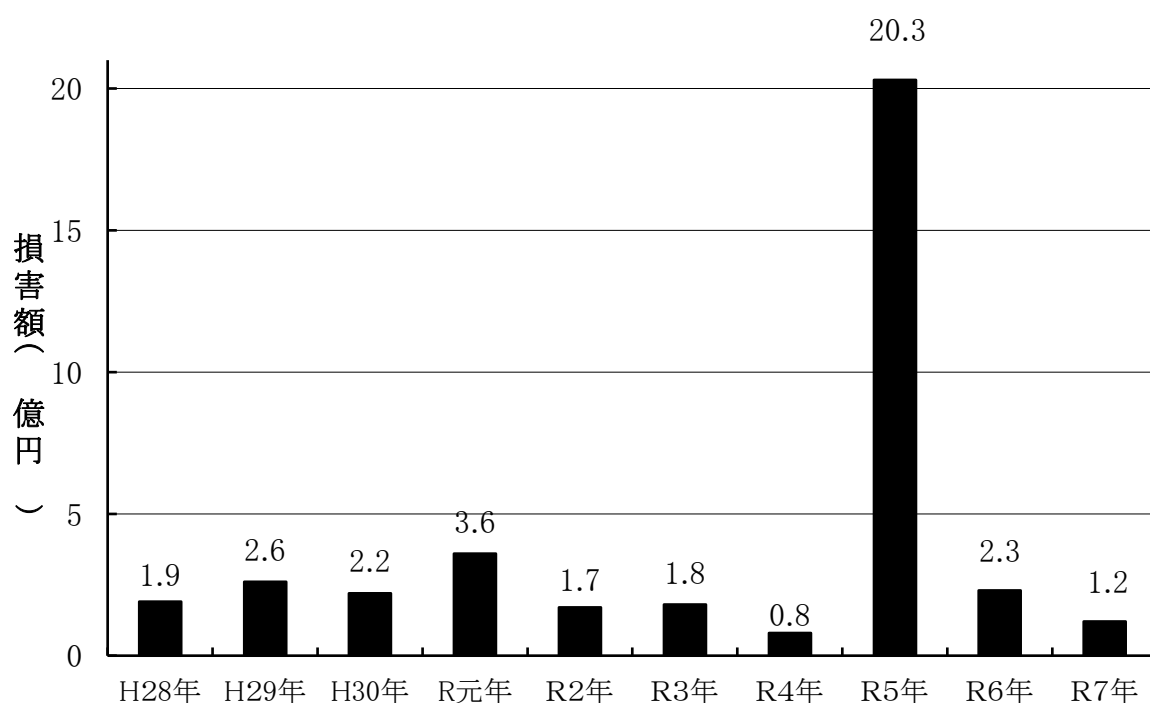
	川越地区							川越市							川島町						
	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
H28年	100	51		14			35	87	44		13			30	13	7		1			5
H29年	98	60		6			32	82	54		4			24	16	6		2			8
H30年	75	38		13			24	65	34		11			20	10	4		2			4
R元年	109	65		10			34	88	59		7			22	21	6		3			12
R2年	75	54		8			13	64	47		6			11	11	7		2			2
R3年	84	50		11			23	74	44		9			21	10	6		2			2
R4年	99	57		12			30	85	51		9			25	14	6		3			5
R5年	97	46		10			41	80	40		8			32	17	6		2			9
R6年	101	54		15			32	86	48		14			24	15	6		1			8
R7年	103	53		10			40	87	47		7			33	16	6		3			7



火災損害状況の推移（１０年間）

各年（単位：千円）

	川越地区	川越市	川島町
H28年	1 8 9, 3 9 6	1 5 9, 2 1 2	3 0, 1 8 4
H29年	2 6 2, 9 9 0	2 2 4, 9 5 6	3 8, 0 3 4
H30年	2 1 5, 4 7 5	1 5 5, 2 7 9	6 0, 1 9 6
R元年	3 5 5, 3 6 4	3 1 3, 0 5 5	4 2, 3 0 9
R 2 年	1 7 2, 2 5 1	1 6 1, 6 4 1	1 0, 6 1 0
R 3 年	1 8 3, 8 7 1	1 5 3, 4 5 1	3 0, 4 2 0
R 4 年	7 6, 6 9 6	7 3, 5 2 9	3, 1 6 7
R 5 年	2, 0 3 0, 1 4 6	2, 0 2 3, 2 6 1	6, 8 8 5
R 6 年	2 3 2, 8 4 1	1 9 9, 1 5 9	3 3, 6 8 2
R 7 年	1 2 4, 3 1 3	1 1 5, 3 7 5	8, 9 3 8

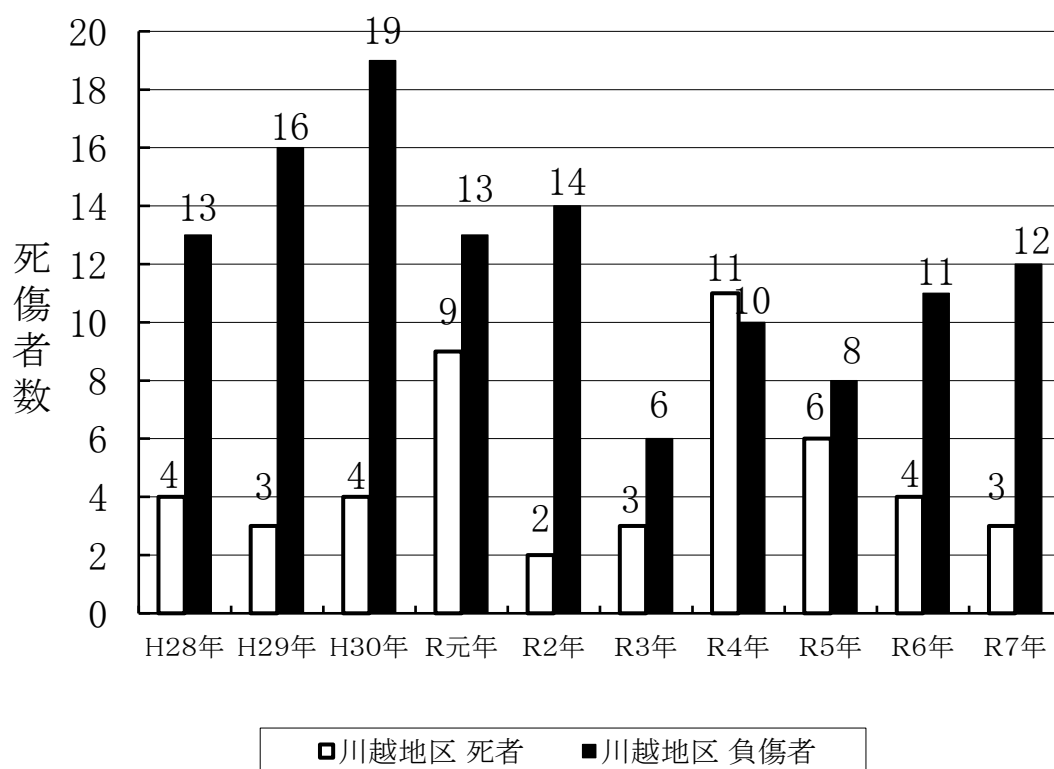


※グラフは単位未満、小数点第2位を四捨五入した数値です。

火災による死傷者の推移（１０年間）

各年(単位:人)

	川越地区		川越市		川島町	
	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
H28年	4	13	4	12		1
H29年	3	16	2	15	1	1
H30年	4	19	3	18	1	1
R元年	9	13	9	11		2
R2年	2	14	2	14		
R3年	3	6	3	6		
R4年	11	10	10	9	1	1
R5年	6	8	6	7		1
R6年	4	11	3	7	1	4
R7年	3	12	3	11		1



地区別の出火原因

令和7年中(単位:件)

	本庁管内	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	山田	名細	霞ヶ関	川島	合計
たばこ	5			1	1		2		1	1		11
こんろ	2			1	1		1			1		6
かまど											1	1
風呂かまど											1	1
炉												0
焼却炉												0
ストーブ				1								1
こたつ												0
ボイラー												0
煙突・煙道												0
排気管	1									1	2	4
電気機器	4				1				1		2	8
電気装置	1	1									1	3
電灯・電話等の配線	1			1	1	1	2		1		1	8
内燃機関											1	1
配線器具	5		1	1						1	1	9
火あそび												0
マッチ・ライター					1							1
たき火			2			1		2			2	7
溶接機・切断機	1										1	2
灯火												0
衝突の火花												0
取灰	1			1								2
火入れ			1					1		1		3
放火	7	1			1					2	1	12
放火の疑い	2			1		2				1	1	7
その他	2	1	1		1	1		2	1	1	1	11
不明	1	1			2	1						5
合計	33	4	5	7	9	6	5	5	4	9	16	103

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

出火原因別火災件数の推移（１０年間）

各年(単位:件)

	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
たばこ	10	13	8	17	8	12	16	17	10	11
こんろ	3	9	5	2	8	5	4	7	3	6
かまど				2				1		1
風呂かまど										1
炉		1				1	1			
焼却炉		3	1	1	1					
ストーブ	1	5	2	5	4	5	1	2	3	1
こたつ									2	
ボイラー										
煙突・煙道								1		
排気管	7	1	3	2	1	1		4	3	4
電気機器	2	3	2	8	6	3	5	4	5	8
電気装置		1	1	2	1	4	3		2	3
電灯・電話等の配線	2	3	3	8	3	6	2	5	1	8
内燃機関					1					1
配線器具	2	5	4	3	2	2	3	4	4	9
火あそび		2	2	1	3			3		
マッチ・ライター		1	1		1	1	4	1	2	1
たき火		1		6	1	6	2	17	10	7
溶接機・切断機	1		1				1			2
灯火	1		1	1	3	1		2	1	
衝突の火花		1	1				1	1		
取灰	1		1				2	1		2
火入れ	4	4	2	6	2		4	2	2	3
放火	22	10	11	10	6	9	27	9	15	12
放火の疑い	16	12	5	5	5	3	8	1	4	7
その他	19	18	15	25	15	24	14	13	25	11
不明	9	5	6	5	4	1	1	2	9	5
合計	100	98	75	109	75	84	99	97	101	103

※その他とは、落雷等の上記項目に該当しないもの。

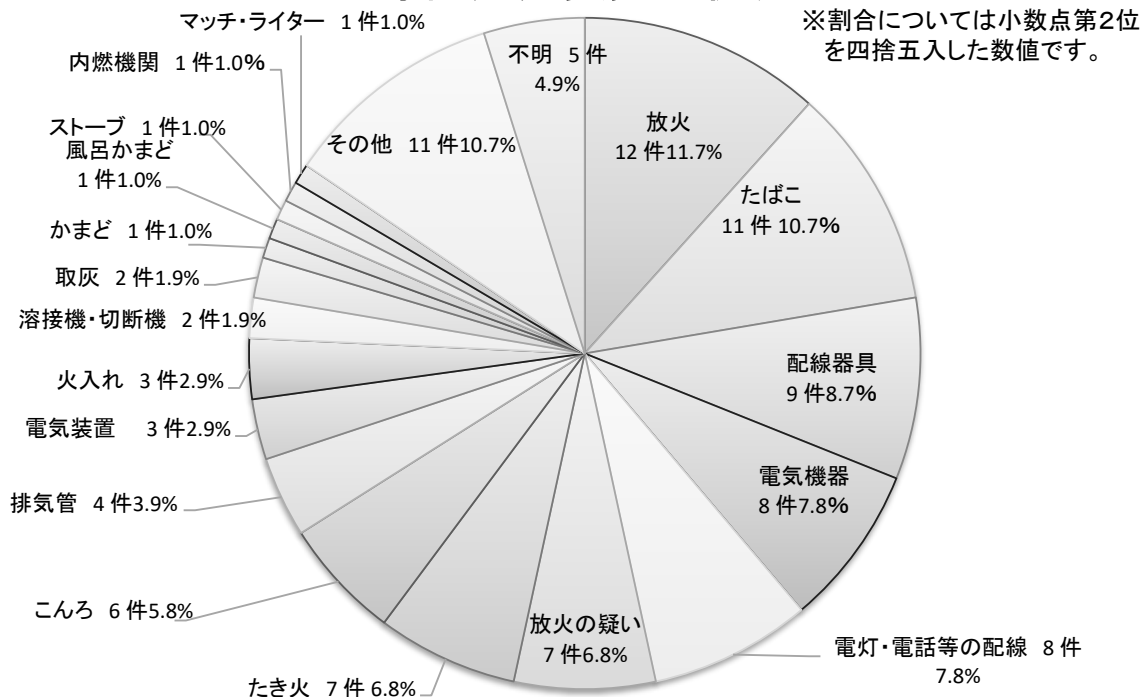
出火原因別火災件数

令和7年中(単位:件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ	2	1	1	1		1	1	1		1	1	1	11
こんろ					1	1	1		1	1		1	6
かまど		1											1
風呂かまど				1									1
炉													0
焼却炉													0
ストーブ	1												1
こたつ													0
ボイラー													0
煙突・煙道													0
排気管								1	1	1		1	4
電気機器			1	2			1		3		1		8
電気装置				1			1	1					3
電灯・電話等の配線		3			1				1		1	2	8
内燃機関							1						1
配線器具		3		1	2		1	1			1		9
火遊び													0
マッチ・ライター					1								1
たき火		4					1	1				1	7
溶接機・切断機			1					1					2
灯火													0
衝突の火花													0
取灰			1									1	2
火入れ	1			1							1		3
放火			1			1		2	3	5			12
放火の疑い		1	1	1			2	1			1		7
その他	1		1	1	1			4	3				11
不明	2	1	2										5
合計	7	14	9	9	6	3	9	13	12	8	6	7	103

※その他とは落雷等、上記項目に該当しないもの。

原因別火災発生状況



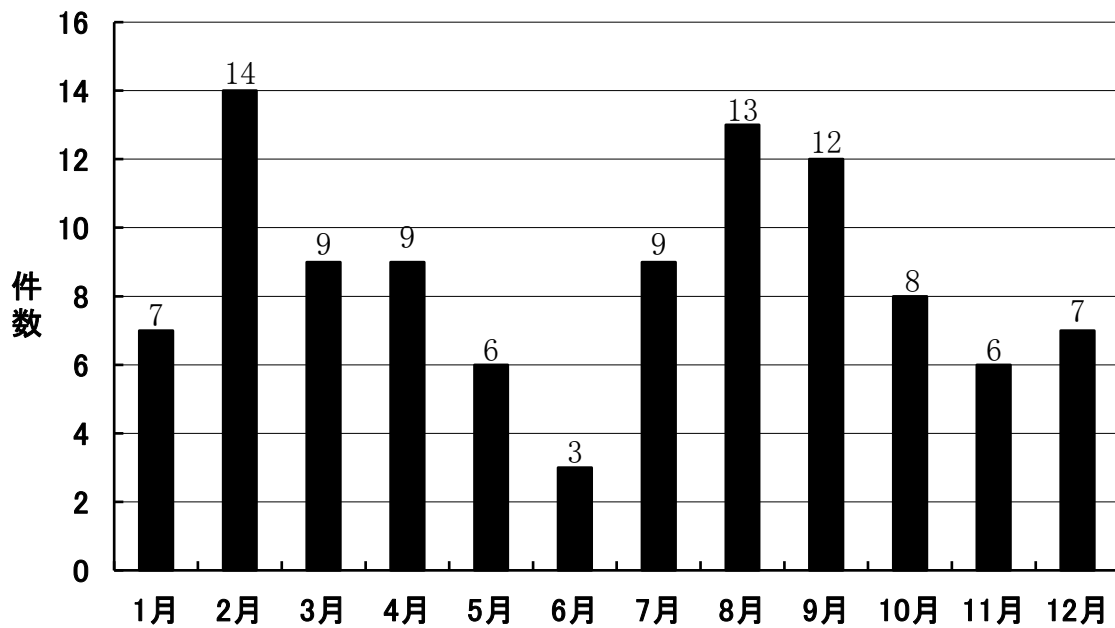
月別火災概況

令和7年中

		単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数	建物	件	4	9	7	3	4	3	4	6	8	2	1	2	53
	林野														0
	車両					1			1	1	2	2	1	2	10
	船舶														0
	航空機														0
	その他		3	5	2	5	2		4	6	2	4	4	3	40
	合計		7	14	9	9	6	3	9	13	12	8	6	7	103
建物	焼損床面積	㎡	742	126	262	341		51	21	11	73				1,627
	焼損表面積		22	17	11	30	1	2		9			1		93
死傷者	死者	人	1		2										3
	負傷者		1	2			1	2	4		1	1			12
	合計		2	2	2		1	2	4		1	1			15
り災世帯		世帯	5	9	4	6	2	5	3	3	6	1		2	46
り災人員		人	14	19	7	7	2	11	9	10	15	3		5	102

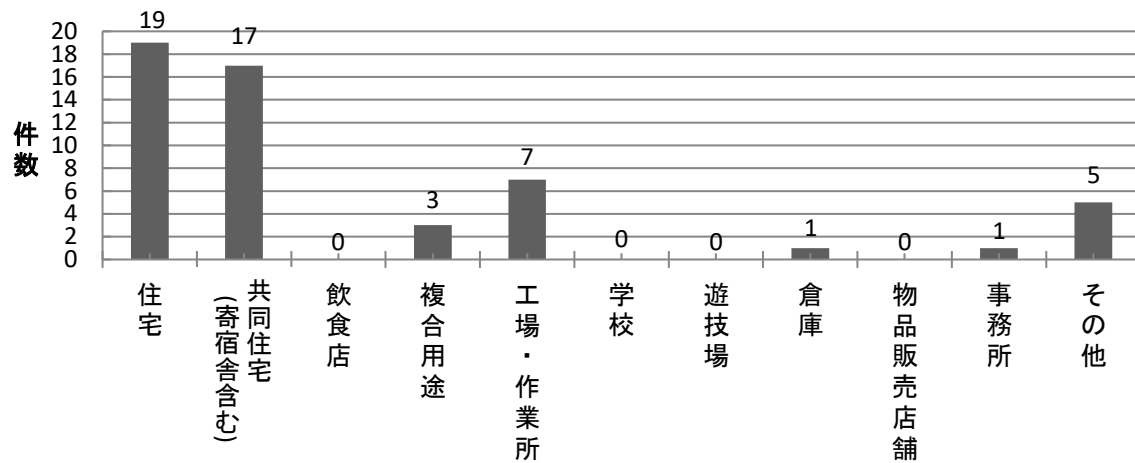
月別火災件数

令和7年中



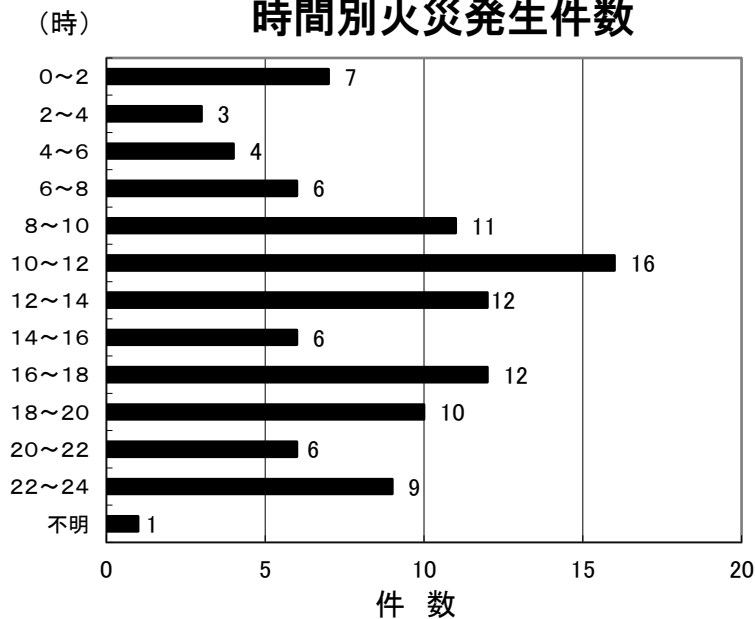
建物用途別火災件数

令和7年中



時間別火災発生件数

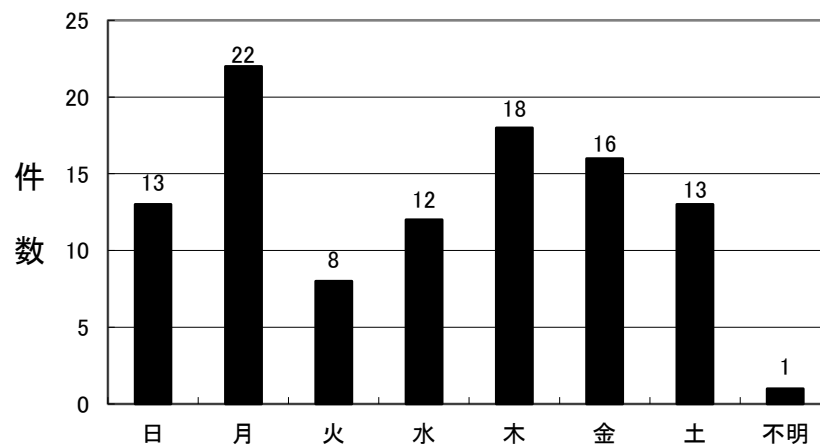
令和7年中



時間	件数
0~2	7
2~4	3
4~6	4
6~8	6
8~10	11
10~12	16
12~14	12
14~16	6
16~18	12
18~20	10
20~22	6
22~24	9
不明	1
合計	103

曜日別火災発生件数

令和7年中



曜日	件数
日	13
月	22
火	8
水	12
木	18
金	16
土	13
不明	1
合計	103

救急・救助

令和7年中の救急・救助の概要

1 救急の概要

令和7年中の救急出場件数は、22,284件(前年22,410件)、搬送人員18,173人(前年18,057人)で、前年に比較し救急出場件数は126件(0.6%)減少し、搬送人員は116人(0.6%)増加しています。

また、一日の平均出場件数は61.1件(前年61.2件)で、約23.6分に1回(前年23.5分に1回)の割合で出場し、住民20.6人に1人(前年20.6人に1人)が搬送されたことになります。

(1) 事故種別の状況

事故種別の構成比は、急病が全体の69.2%(15,420件)で、最も高い比率を占めている。次いで、一般負傷14.1%(3,147件)、その他7.5%(1,669件)となっており、11種類に分類される救急事故の中で、急病と一般負傷が全体の83.3%を占めている。

(2) 署所別の状況

署所別の構成比は、川越中央消防署19.5%(5,562件)、川越北消防署13.9%(3,103件)、名細分署12.4%(2,766件)、高階分署12.2%(2,719件)に次いで大東分署10.9%(3,157件)、次いで、川越西消防署、南古谷分署、川島分署となっており、8署のうち6署で年間出場件数が2,000件を超えている。

(3) 医療機関別搬送人員

医療機関(接骨院等を含む。以下同じ。)へ搬送された傷病者は18,173人で、このうち、74.8%(13,599人)が組合管内11の救急病院へ、2.2%(396人)が組合管内の救急病院以外の医療機関へ、23.0%(4,178人)が組合管外の医療機関へ搬送された。

(4) 時間別救急出場件数

時間別救急出場件数は、10時～12時が2,720件、8時～10時が2,573件、12時～14時が2,552件の順となっている。また、一番少ない時間帯は2時～4時で786件となっている。

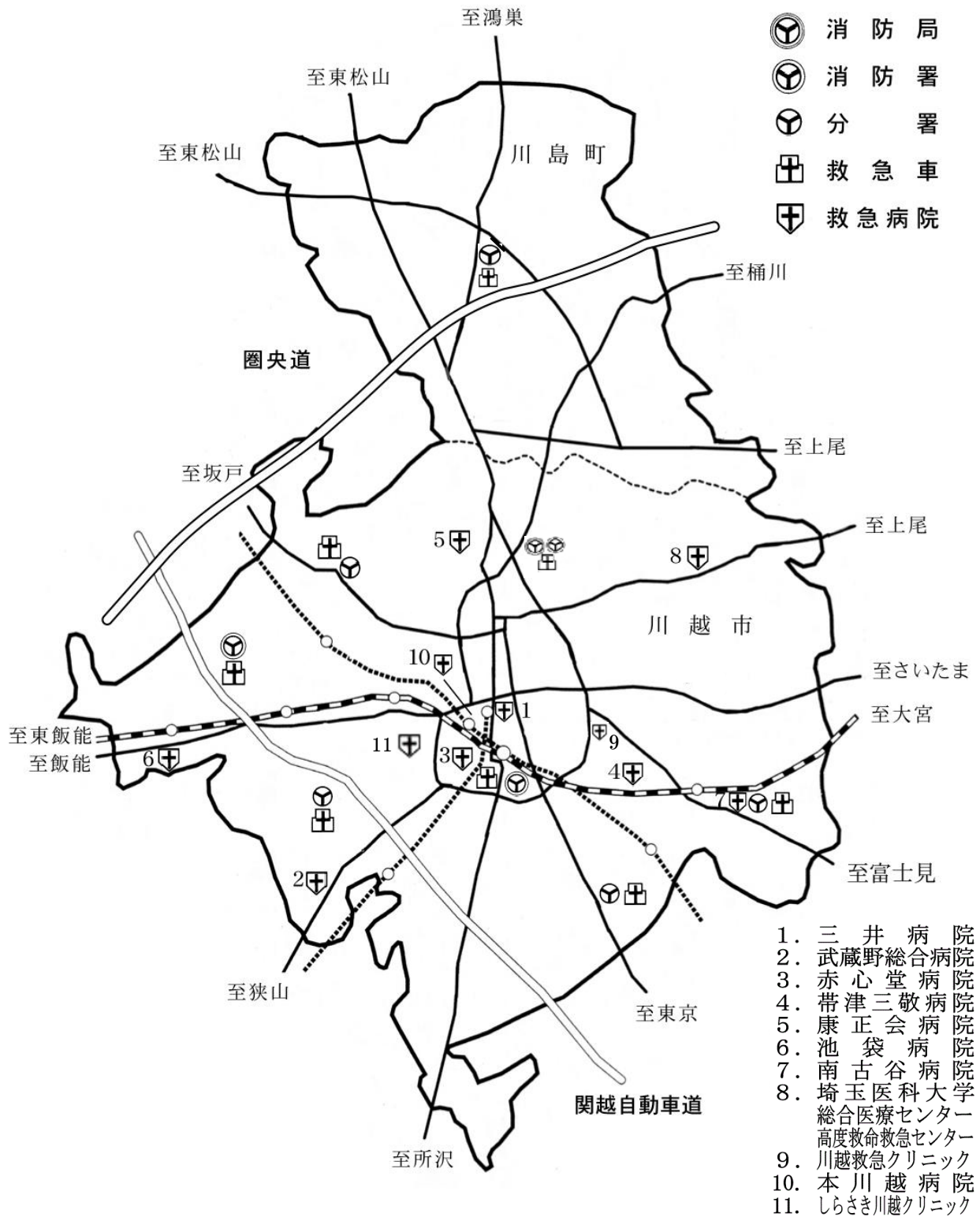
2 救助の概要

令和7年中の救助出場件数は209件(前年257件)、救助活動件数は155件(前年203件)で、前年と比較して、出場件数が48件(約18.7%)減少し、救助活動件数が48件(約23.6%)の減少となっている。

救助活動件数の事故種別の構成比は、建物等による事故が約41.3%(64件)、建物火災が約20.6%(32件)、交通事故が約14.2%(22件)、建物以外の火災が約9.7%(15件)、水難事故が約2.6%(4件)、機械による事故が約1.9%(3件)、その他が約9.7%(15件)となっている。

救急車の配置及び救急病院配置図

令和8年6月1日現在



救 急 活 動

救急活動の推移（１０年間）

各年

出 場 年	搬 送	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
H28	出場件数		67	1	5	1,665	168	158	2,233	121	136	10,759	1,802	17,115 〔2,394〕
	搬送人員		11	1	4	1,643	165	154	1,989	90	91	9,365	1,375	14,888
H29	出場件数		62	1	6	1,678	148	141	2,299	109	147	10,976	2,045	17,612 〔2,495〕
	搬送人員		16		2	1,654	145	140	2,046	77	90	9,598	1,535	15,303
H30	出場件数		47	1	7	1,662	176	158	2,416	110	151	11,445	2,063	18,236 〔2,744〕
	搬送人員		18	1		1,535	172	145	2,164	71	94	9,972	1,475	15,647
R元	出場件数		72	5	4	1,531	169	133	2,446	94	158	11,411	2,095	18,118 〔2,784〕
	搬送人員		13	2	1	1,448	166	129	2,199	62	93	9,977	1,383	15,473
R2	出場件数		49		5	1,227	165	78	2,335	84	158	10,203	1,922	16,226 〔2,684〕
	搬送人員		16			1,111	158	75	2,062	62	104	8,790	1,255	13,633
R3	出場件数		73		2	1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893	17,043 〔3,025〕
	搬送人員		8			1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235	14,115
R4	出場件数		98		4	1,299	212	147	2,718	95	245	14,262	1,442	20,522 〔4,056〕
	搬送人員		9			1,130	200	147	2,363	50	138	11,209	1,316	16,562
R5	出場件数		78		4	1,348	211	166	2,976	100	217	15,234	1,579	21,913 〔4,573〕
	搬送人員		7			1,205	199	157	2,564	52	127	11,697	1,440	17,448
R6	出場件数		69		3	1,329	211	165	3,139	107	196	15,482	1,709	22,410 〔4,449〕
	搬送人員		7			1,179	206	157	2,690	63	130	12,017	1,608	18,057
R7	出場件数		82		5	1,306	200	170	3,147	86	199	15,420	1,669	22,284 〔4,201〕
	搬送人員		14			1,146	190	166	2,720	61	118	12,165	1,593	18,173

※〔 〕は不搬送件数

月別救急活動の状況

令和7年中

出 場 月 搬 送		事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	出場件数	9			91	13	10	261	9	13	1,527	151	2,084	
	搬送人員	2			83	11	10	220	7	7	1,151	147	1,638	
2月	出場件数	10		3	92	7	10	268	4	12	1,252	130	1,788	
	搬送人員	2			85	4	10	222	2	7	947	123	1,402	
3月	出場件数	5			96	13	10	238	7	15	1,290	160	1,834	
	搬送人員				88	13	9	212	6	9	1,017	155	1,509	
4月	出場件数	7			114	11	7	249	7	16	1,132	125	1,668	
	搬送人員	1			94	11	7	208	8	9	898	124	1,360	
5月	出場件数	5		1	94	18	11	247	6	25	1,131	144	1,682	
	搬送人員	1			83	16	11	216	2	19	913	142	1,403	
6月	出場件数	6			90	21	19	226	7	15	1,181	142	1,707	
	搬送人員	2			78	21	19	195	4	10	926	134	1,389	
7月	出場件数	9		1	129	31	19	263	8	23	1,469	156	2,108	
	搬送人員	4			114	30	18	226	5	14	1,152	146	1,709	
8月	出場件数	6			100	26	15	242	6	14	1,467	112	1,988	
	搬送人員				86	26	15	212	4	8	1,140	109	1,600	
9月	出場件数	10			104	17	16	238	7	18	1,193	113	1,716	
	搬送人員	1			85	16	18	213	5	14	960	105	1,417	
10月	出場件数	7			115	12	23	275	15	18	1,213	127	1,805	
	搬送人員	1			105	12	22	236	8	9	995	120	1,508	
11月	出場件数	5			129	19	16	289	7	19	1,283	155	1,922	
	搬送人員				107	19	14	255	7	8	1,031	142	1,583	
12月	出場件数	3			152	12	14	351	3	11	1,282	154	1,982	
	搬送人員				138	11	13	305	3	4	1,035	146	1,655	
合計	出場件数	82	0	5	1,306	200	170	3,147	86	199	15,420	1,669	22,284	
	搬送人員	14	0	0	1,146	190	166	2,720	61	118	12,165	1,593	18,173	

事故種別傷病程度別搬送人員

令和7年中

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				1	1		3		4	166		175
重症	3			34	7	4	173		18	995	291	1,525
中等症	3			216	63	37	940	8	58	5,330	1,191	7,846
軽症	8			895	119	125	1,604	53	38	5,674	110	8,626
その他											1	1
合計	14	0	0	1,146	190	166	2,720	61	118	12,165	1,593	18,173

※ 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 死亡 初診時において死亡が確認されたもの
- 2 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 3 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 4 軽症 傷病の程度が入院を必要としないもの
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

事故種別年齢区分別搬送人員

令和7年中

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児							3			11	64	78
乳幼児				24		1	151	1		513	78	768
少年	2			111	1	100	53	5	20	320	33	645
成人	7			682	155	57	442	42	87	3,642	412	5,526
高齢者	5			329	34	8	2,071	13	11	7,679	1,006	11,156
合計	14	0	0	1,146	190	166	2,720	61	118	12,165	1,593	18,173

※ 年齢区分は、次のとおり分類する。

(救急業務実施状況調記載要領による)

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

署所別救急活動の状況

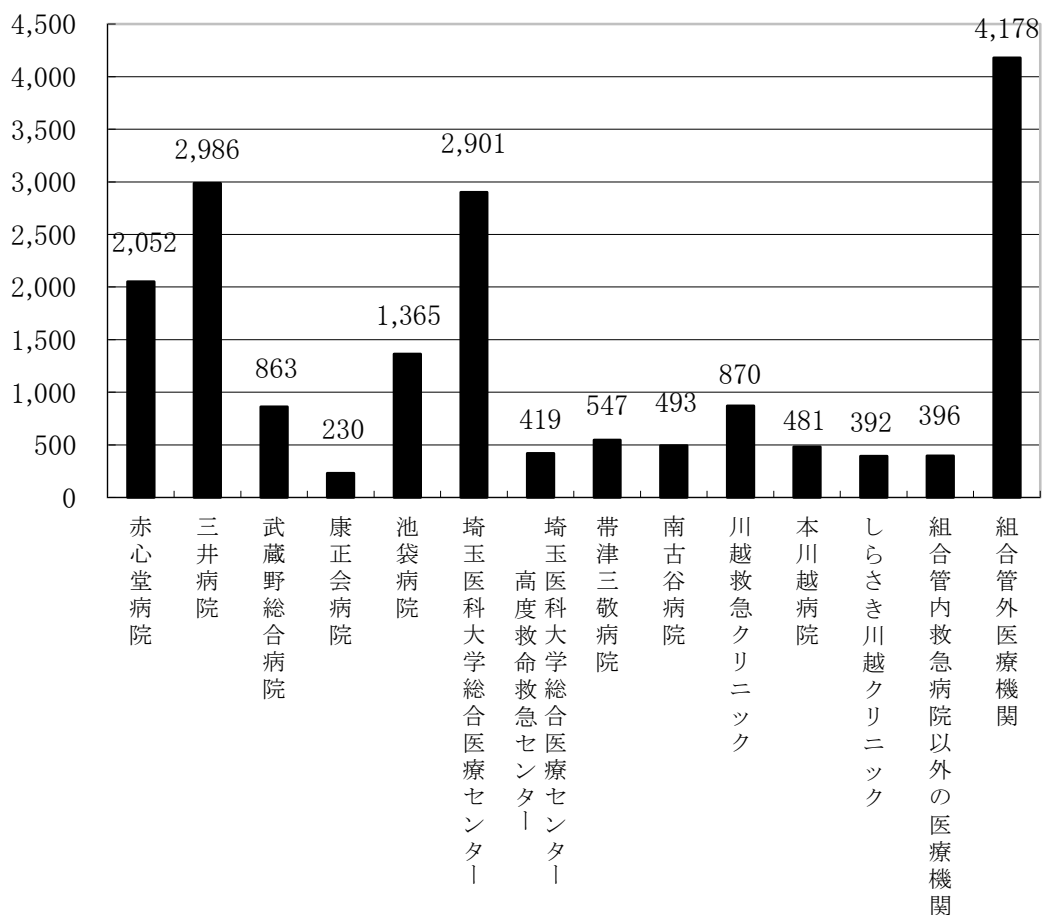
令和7年中

署所	出 場 搬 送	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
川越北消防署	出場件数		11		1	190	26	28	381	8	24	1,902	532	3,103
	搬送人員		1			170	26	30	339	7	16	1,549	529	2,667
南古谷分署	出場件数		4		3	118	24	28	246	4	15	1,341	168	1,951
	搬送人員		4			113	22	27	221	3	5	1,134	162	1,691
川島分署	出場件数		7			95	29	6	180	5	9	852	73	1,256
	搬送人員		0			77	28	6	153	4	5	665	70	1,008
川越中央消防署	出場件数		19			346	40	38	833	28	56	3,904	388	5,652
	搬送人員		3			299	38	37	709	15	34	2,960	366	4,461
高階分署	出場件数		10			148	9	9	371	16	31	2,031	94	2,719
	搬送人員		2			130	9	9	313	11	23	1,634	89	2,220
大東分署	出場件数		12			159	36	17	340	10	20	1,687	141	2,422
	搬送人員		1			129	34	16	302	7	11	1,289	129	1,918
川越西消防署	出場件数		11		1	109	15	11	385	4	23	1,730	126	2,415
	搬送人員		1			91	14	11	322	2	11	1,307	116	1,875
名細分署	出場件数		8			141	21	33	411	11	21	1,973	147	2,766
	搬送人員		2			137	19	30	361	12	13	1,627	132	2,333
合計	出場件数		82	0	5	1,306	200	170	3,147	86	199	15,420	1,669	22,284
	搬送人員		14	0	0	1,146	190	166	2,720	61	118	12,165	1,593	18,173

医療機関別搬送人員

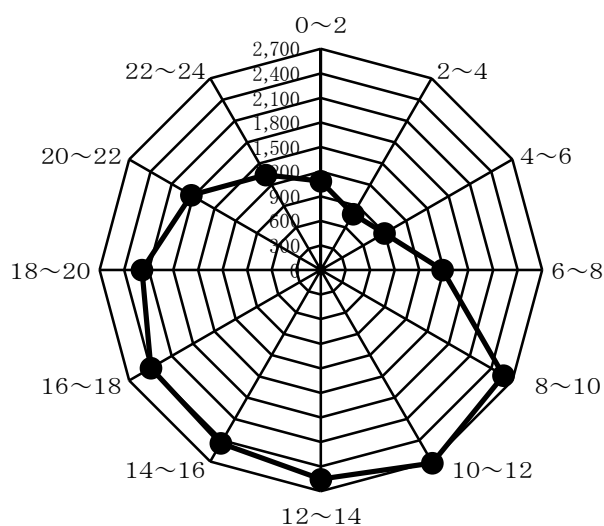
(単位:人)

令和7年中



時間別救急出場件数

令和7年中



時間	救急件数
0～2	1,085
2～4	786
4～6	897
6～8	1,486
8～10	2,573
10～12	2,720
12～14	2,552
14～16	2,440
16～18	2,395
18～20	2,183
20～22	1,826
22～24	1,341

救命講習実施状況

各年度中

区分 年度	普通救命講習		上級救命講習		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員
令和3年度	83	1,233			83	1,233
令和4年度	131	1,723	3	35	134	1,758
令和5年度	183	2,697	7	98	190	2,795
令和6年度	206	3,442	7	72	213	3,514
令和7年度	186	2,884	5	55	191	2,939

救急講習指導状況

各年度中

区分 年度	救急講習		救命入門コース		合計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員
令和3年度	60	1,266	8	228	68	1,494
令和4年度	113	4,584	23	448	136	5,032
令和5年度	135	6,394	29	585	164	6,979
令和6年度	180	9,961	26	651	206	10,612
令和7年度	208	10,239	26	564	234	10,803

救 助 活 動

事故種別出場件数、活動件数及び救助人員

令和7年中

事故種別 区 分	火 災		交通 事故	水難 事故	自 然 災害	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
	建物	建物 以外									
出場件数	32	15	30	4		4	69			55	209
活動件数	32	15	22	4		3	64			15	155
救助人員	8	1	23	5		5	63			12	117

事故種別発生場所別救助人員

令和7年中

事故種別 発生区分		火 災		交通 事故	水難 事故	自 然 災害	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス 及び 酸欠 事故	破裂 事故	その他	合計
		建物	建物 以外									
屋 内	住居	8					1	62			4	75
	その他の屋内						4					4
屋 外	道 路	高速自動車国道		1								1
		その他の道路		17								17
	水 面	内水面			5							5
		外水面										0
	山 岳											0
	その他の屋外			1	5			1			8	15
地下												0
その他												0
合計		8	1	23	5	0	5	63	0	0	12	117

消 防 団

消防団分団配置図

令和8年6月1日現在



川越市消防団分団の名称及び受持区域

名称	区域
第一分団	石原町一丁目、石原町二丁目、大手町、御成町、喜多町、久保町、郭町一丁目、郭町二丁目、小仙波町一丁目、小仙波町二丁目、小仙波町三丁目、小仙波町四丁目、小仙波町五丁目、幸町、三久保町、志多町、城下町、神明町、末広町一丁目、末広町二丁目、末広町三丁目、間屋町、西小仙波町一丁目、西小仙波町二丁目、氷川町、松江町一丁目、松江町二丁目、宮下町一丁目、宮下町二丁目、宮元町、元町一丁目、元町二丁目、大字川越、大字小仙波、大字寺井、大字東明寺、大字松郷
第二分団	岸町一丁目、三光町、新富町一丁目、新富町二丁目、菅原町、仙波町一丁目、仙波町二丁目、仙波町三丁目、仙波町四丁目、月吉町、通町、中原町一丁目、中原町二丁目、仲町、富士見町、南通町、連雀町、六軒町一丁目、六軒町二丁目、脇田町、大字大仙波
第三分団	旭町一丁目、旭町二丁目、旭町三丁目、新宿町一丁目、新宿町二丁目、新宿町三丁目、新宿町四丁目、新宿町五丁目、新宿町六丁目、今成一丁目、今成二丁目、今成三丁目、今成四丁目、大塚二丁目の一部(二二番一から二二番一六まで、二二番三四から二二番三七まで、二四番一から二四番一四まで、二四番一八から二四番二〇まで、二五番一から二五番八まで、二五番九から二五番二四まで、二七番一八、二七番二〇から二七番二五まで、二七番二七、二七番二九、一〇〇番一〇一、一〇〇番一〇二、一〇〇番一〇四、一〇〇番一二五、一〇〇番一七一、一〇〇番一七二、一〇〇番二〇七から一〇〇番二一〇まで、一〇四番一八及び一〇四番一九)、上野田町、岸町二丁目、岸町三丁目、広栄町、田町、中台一丁目的一部分(一番から五番まで、九番五、一〇〇番一から一〇〇番一四まで、一〇〇番一六、一〇〇番二〇、一〇〇番三〇及び一〇〇番三七から一〇〇番三九まで)、中台元町二丁目的一部分(一番、二番一から二番一〇まで、二番一二から二番一五まで、二番一七、二番二二から二番二四まで、三番一、三番二、三番五、三番六、三番二一、三番二二、一〇〇番一から一〇〇番五まで及び一〇〇番九)、野田町一丁目、野田町二丁目、東田町、むさし野の一部(一番一から一番八まで、三番一七から三番二四まで、四番一から四番三まで、四番一七から四番二〇まで、一〇〇番八及び一〇〇番一九から一〇〇番二三まで)、脇田新町、脇田本町、大字小ヶ谷、大字大仙波新田、大字岸、大字小室、大字野田
芳野分団	川越市芳野市民センターの所管区域
古谷分団	川越市古谷市民センターの所管区域
南古谷分団	川越市南古谷市民センターの所管区域
高階分団	川越市高階市民センターの所管区域
福原分団	川越市福原市民センターの所管区域
大東分団	川越市大東市民センターの所管区域
山田分団	川越市山田市民センターの所管区域
名細分団	川越市名細市民センターの所管区域及び川鶴市民センター所管区域の一部(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目)
霞ヶ関分団	川越市霞ヶ関市民センターの所管区域、川鶴市民センターの所管区域(吉田新町一丁目、吉田新町二丁目及び吉田新町三丁目を除く。)及び霞ヶ関北市民センターの所管区域

川島町消防団分団の名称及び受持区域

名称	区域
第一分団	大字中山、大字南園部、大字吹塚、大字北園部、大字正直、大字戸守、大字長楽、八幡一丁目、八幡二丁目、八幡三丁目、八幡四丁目、八幡五丁目、八幡六丁目、かわじま一丁目、かわじま二丁目
第二分団	大字上伊草、大字伊草、大字下伊草、大字角泉、大字安塚、大字飯島
第三分団	大字平沼、大字白井沼、大字紫竹、大字宮前、大字上貉、大字下貉、大字釘無、大字新堀、大字吉原、大字表
第四分団	大字出丸下郷、大字西谷、大字曲師、大字出丸本、大字上大屋敷、大字下大屋敷、大字出丸中郷
第五分団	大字上八ツ林、大字下八ツ林、大字畑中、大字三保谷宿、大字牛ヶ谷戸、大字山ヶ谷戸、大字東野、大字東大塚
第六分団	大字虫塚、大字梅ノ木、大字上小見野、大字小見野、大字下小見野、大字加胡、大字松永、大字谷中、大字鳥羽井、大字一本木、大字芝沼、大字鳥羽井新田、大字東部

消防団員の実員数

(1) 階級別

令和8年4月1日現在

階級 区分		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
川越市	定数	1	4	13	13	13	26	260	330
	実員	1	4	13	13	13	26	188	258
川島町	定数	1	2	6	6	7	13	94	129
	実員	1	2	6	6	7	13	80	115

(2) 川越市消防団本部分団別実員数

令和8年4月1日現在

階級 所属		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	4	1	1	1	2	19	29
第一分団				1	1	1	2	13	18
第二分団				1	1	1	2	20	25
第三分団				1	1	1	2	20	25
芳野分団				1	1	1	2	18	23
古谷分団				1	1	1	2	19	24
南古谷分団				1	1	1	2	11	16
高階分団				1	1	1	2	10	15
福原分団				1	1	1	2	7	12
大東分団				1	1	1	2	16	21
山田分団				1	1	1	2	13	18
名細分団				1	1	1	2	12	17
霞ヶ関分団				1	1	1	2	10	15
合計		1	4	13	13	13	26	188	258

(3) 川島町消防団本部分団別実員数

令和8年4月1日現在

階級 所属		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
団本部		1	2			1	1	8	13
第一分団				1	1	1	2	11	16
第二分団				1	1	1	2	13	18
第三分団				1	1	1	2	13	18
第四分団				1	1	1	2	12	17
第五分団				1	1	1	2	12	17
第六分団				1	1	1	2	11	16
合計		1	2	6	6	7	13	80	115

分団別人口世帯の状況

(1) 川越市消防団

令和8年4月1日現在

人口等 所属	定員	人口	世帯数	団員1人当り	
				人口	世帯数
団本部	30				
第一分団	25	27,638	13,352	1,106	534
第二分団	25	32,156	17,918	1,286	717
第三分団	25	47,065	24,218	1,883	969
芳野分団	25	5,267	2,317	211	93
古谷分団	25	9,904	4,554	396	182
南古谷分団	25	25,066	11,282	1,003	451
高階分団	25	53,771	27,181	2,151	1,087
福原分団	25	20,773	9,412	831	376
大東分団	25	35,085	16,493	1,403	660
山田分団	25	11,782	5,214	471	209
名細分団	25	29,849	14,437	1,194	577
霞ヶ関分団	25	54,281	26,042	2,171	1,042
合計	330	352,637	172,420	1,069	522

(2) 川島町消防団

令和8年4月1日現在

人口等 所属	定員	人口	世帯数	団員1人当り	
				人口	世帯数
団本部	15				
第一分団	19	6,247	2,913	329	153
第二分団	19	5,748	2,749	303	145
第三分団	19	1,804	775	95	41
第四分団	19	1,315	541	69	28
第五分団	19	1,802	811	95	43
第六分団	19	1,534	642	81	34
合計	129	18,450	8,431	143	65

消防団員の勤続年数

(1) 川越市消防団

令和8年4月1日現在

階級 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満						3	60	63
5年以上10年未満			1	3	4	4	38	50
10年以上15年未満			3	4	3	7	28	45
15年以上20年未満		1	3	2	3	8	31	48
20年以上25年未満		1	5	1	2	3	12	24
25年以上30年未満		1	1	3	1	1	14	21
30年以上	1	1					5	7
合計	1	4	13	13	13	26	188	258

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和8年4月1日現在

階級 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							20	20
5年以上10年未満					1	2	27	30
10年以上15年未満						5	11	16
15年以上20年未満			1	2	3	1	10	17
20年以上25年未満		1	2	3	1	3	4	14
25年以上30年未満	1	1	2	1	1	2	8	16
30年以上			1		1			2
合計	1	2	6	6	7	13	80	115

(単位:人)

消防団員の年齢

(1) 川越市消防団

令和8年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18歳以上～20歳未満							3	3
20歳以上～25歳未満							11	11
25歳以上～30歳未満				1		1	8	10
30歳以上～35歳未満					1	2	16	19
35歳以上～40歳未満			1	1	4	4	25	35
40歳以上～45歳未満			4	2	3	6	34	49
45歳以上～50歳未満		1	2	3	3	5	23	37
50歳以上～55歳未満		1	3	5	2	6	38	55
55歳以上～60歳未満	1	2	2	1	1		11	18
60歳以上～65歳未満			1			2	10	13
65歳以上							8	8
合計	1	4	13	13	14	26	187	258

(単位:人)

(2) 川島町消防団

令和8年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18歳以上～20歳未満							1	1
20歳以上～25歳未満							4	4
25歳以上～30歳未満							10	10
30歳以上～35歳未満							11	11
35歳以上～40歳未満					1	2	11	14
40歳以上～45歳未満			2	2		2	13	19
45歳以上～50歳未満				2	2	6	7	17
50歳以上～55歳未満	1	2	4	1	3	2	12	25
55歳以上～60歳未満				1	1	1	9	12
60歳以上～65歳未満							2	2
65歳以上								0
合計	1	2	6	6	7	13	80	115

(単位:人)

消防団員の報酬等

(1) 年額報酬

令和8年4月1日現在

階級 内訳	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
支給額	206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

(単位:円)

(2) 出勤報酬

令和8年4月1日現在

区分	金額	支給単位
災害の場合	4,000	1回につき
警戒、訓練等の場合	2,000	
行事及び会議の場合	1,000	

(単位:円)

※災害の場合の1回の従事時間が4時間を超える場合はその超過時間4時間までごとに4,000円を加給する。

※災害の場合4時間以内に2回以上従事した場合は、1回とみなす。

(3) 費用弁償

令和8年4月1日現在

住居等から団本部または 分団車庫までの片道の距離	金額	支給単位
2キロメートル以上4キロメートル未満	130	1回につき
4キロメートル以上6キロメートル未満	160	
6キロメートル以上8キロメートル未満	210	
8キロメートル以上10キロメートル未満	270	
10キロメートル以上	320	

(単位:円)

(4) 退職報償金

令和8年4月1日現在

階級 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
5年以上 10年未満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000		200,000
10年以上 15年未満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000		264,000
15年以上 20年未満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000		334,000
20年以上 25年未満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000		409,000
25年以上 30年未満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000		519,000
30年以上 35年未満	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000		689,000
35年以上	1,079,000	1,009,000	949,000	909,000	834,000		789,000

(単位:円)

分団別火災出場の状況

(1) 川越市消防団

令和7年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団	3	1		3	1	1	5	2	2		1	1	20
第二分団	2	1		2	1	2	5	4	1	1	3	1	23
第三分団	2	1		2	1	2	5	2	2		1		18
芳野分団		1	2	1				2	3	1	1		11
古谷分団		1	2	1			2		3		1	1	11
南古谷分団	2	1	1		1		1			1		1	8
高階分団	2	1	3		1		1	1	1	3		1	14
福原分団	3	2	1		2		1	1	2	4	1	1	18
大東分団	2	2	1		1	1	1	2	3	4	1	1	19
山田分団		1	1	1					1	2	1		7
名細分団		4	2	1		1	1	1	3	1	2		16
霞ヶ関分団		3		1	2	1	1	1	2	3	1		15
合計	16	19	13	12	10	8	23	16	23	20	13	7	180

出場延人員 706人

(単位:回)

(2) 川島町消防団

令和7年中

月 分団	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一分団			1	2		1					1		5
第二分団			1	2		1	1				1	1	7
第三分団		2	1	2		1					1		7
第四分団		1	3	2		1		1		1	1		10
第五分団			2	2							1		5
第六分団		2	2			1					1		6
合計	0	5	10	10	0	5	1	1	0	1	6	1	40

出場延人員 126人

(単位:回)

消防団施設の概要

(1) 川越市消防団

令和8年4月1日現在

分団名	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第一分団	小仙波町1-2-15	鉄筋コンクリート造2階建	174.56	91.80	H 7. 3.31
第二分団	三光町2-8	鉄筋コンクリート造2階建	170.00	109.78	H11. 3.15
第三分団	野田町1-3-8	鉄骨造2階建	319.17	104.52	H 3. 3.30
芳野分団	大字鴨田9-1	鉄骨造平屋建	750.00	104.00	H17.3.25
古谷分団	大字古谷上3831-1	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建	187.70	99.40	H 7. 3.31
南古谷分団	大字今泉307-2	木造平屋建	252.79	103.10	H19. 3. 1
高階分団	大字藤間346-1	鉄骨造2階建	172.29	112.00	H16. 2.20
福原分団	大字今福1785-5	鉄筋コンクリート造2階建	232.38	99.22	H25. 3.14
大東分団	南大塚1-14-20	鉄筋コンクリート造2階建	352.96	99.22	R 6. 2.27
山田分団	大字山田167	鉄骨造2階建	245.57	112.00	H15. 3.14
名細分団	大字小堤644-3	鉄骨造平屋建	482.00	100.00	H20. 3.26
霞ヶ関分団	大字笠幡2365-1	鉄骨造平屋建	721.83	100.00	H18. 3.28

(2) 川島町消防団

令和8年4月1日現在

分団名	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築年月日
第一分団	大字吹塚737-1	鉄骨造平屋建	332.57	60.30	H 7. 2.27
第二分団	大字伊草184	鉄骨造平屋建	172.97	52.03	H 4. 1.31
第三分団	大字白井沼880	鉄骨造平屋建	306.00	89.43	H19. 3.15
第四分団	大字上大屋敷144-1	鉄骨造2階建	140.95	85.66	H13. 3.28
第五分団	大字畑中344-1	鉄骨造2階建	146.89	88.90	H15. 3.31
第六分団	大字下小見野277-1	鉄骨造平屋建	299.86	89.43	H17. 2. 3

消防自動車性能

(1)川越市消防団

令和8年4月1日現在

所属	車名	年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団本部	トヨタ	令和元年	1,980	川越 830 て 119	—	R1.9.30
	スズキ	平成26年	658	川越 800 あ 303	B-2	H26.12.25
第一分団	いすゞ	平成24年	2,990	川越 800 さ 1318	A-2	H24.2.3
第二分団	日野	平成24年	4,009	川越 800 さ 1508	A-2	H24.12.17
第三分団	日野	平成26年	4,009	川越 800 さ 1946	A-2	H26.12.8
芳野分団	日野	平成23年	4,009	川越 800 さ 1101	A-2	H23.1.28
古谷分団	日野	平成25年	4,009	川越 800 さ 1768	A-2	H25.12.9
南古谷分団	いすゞ	令和7年	2,990	川越 800 さ 4386	A-2	R7.6.30
高階分団	いすゞ	平成21年	2,990	川越 800 さ 681	A-2	H21.1.30
福原分団	日野	平成28年	4,009	川越 800 さ 2448	A-2	H28.12.7
大東分団	日野	令和5年	4,009	川越 800 さ 3831	A-2	R5.3.10 (貸付)
山田分団	日野	平成25年	4,009	川越 800 さ 1769	A-2	H25.12.9
名細分団	日野	平成26年	4,009	川越 800 さ 1947	A-2	H26.12.8
霞ヶ関分団	日野	令和4年	4,009	川越 800 さ 3792	A-2	R4.12.15

(2)川島町消防団

令和8年4月1日現在

所属	車名	年式	総排気量 (cc)	自動車登録番号	ポンプの級別 (級)	購入年月日
団本部	三菱	平成21年	2,350	熊谷 800 す 2124	—	H21.1.29
第一分団	日野	平成22年	4,009	熊谷 800 す 2676	A-2	H22.1.26
第二分団	日野	令和2年	4,009	熊谷 800 す 8375	A-2	R2.12.8
第三分団	日野	平成23年	4,009	熊谷 800 す 3189	A-2	H23.1.28
第四分団	いすゞ	令和7年	2,990	熊谷 800 す 833	A-2	R7.9.10
第五分団	日野	平成21年	4,009	熊谷 800 す 2122	A-2	H21.1.30
第六分団	いすゞ	令和6年	2,990	熊谷 800 セ 71	A-2	R6.3.23

※A-2 毎分2.0m³以上の放水ができるもの

※B-2 毎分1.0m³以上の放水ができるもの

川越市消防団専用無線設備の状況

令和8年4月1日現在

移動局	電波の種類	出力	通信方式
32	消防団波	デジタル移動局	単信方式
		・車両積載 5W	
	市町村波	・可搬型 5W	
		・団長・副団長携帯 2W	
		・分団長携帯 2W	

所属	呼出名称	備考
団本部	かわごえだんほんぶ 1	可搬型
	※ かわごえだんしき 1	車両積載
	かわごえだんせきさい 1	車両積載
	※ かわごえだん 201	団長携帯
	※ かわごえだん 202	副団長携帯
	※ かわごえだん 203	副団長携帯
	※ かわごえだん 204	副団長携帯
	※ かわごえだん 205	副団長携帯
第一分団	かわごえいちぶんだん 1	車両積載
	かわごえいちぶんだん 101	分団長携帯
第二分団	かわごえにぶんだん 1	車両積載
	かわごえにぶんだん 101	分団長携帯
第三分団	かわごえさんぶんだん 1	車両積載
	かわごえさんぶんだん 101	分団長携帯
芳野分団	よしのぶんだん 1	車両積載
	よしのぶんだん 101	分団長携帯
古谷分団	ふるやぶんだん 1	車両積載
	ふるやぶんだん 101	分団長携帯
南古谷分団	みなみふるやぶんだん 1	車両積載
	みなみふるやぶんだん 101	分団長携帯
高階分団	たかしなぶんだん 1	車両積載
	たかしなぶんだん 101	分団長携帯
福原分団	ふくはらぶんだん 1	車両積載
	ふくはらぶんだん 101	分団長携帯
大東分団	だいとうぶんだん 1	車両積載
	だいとうぶんだん 101	分団長携帯
山田分団	やまだぶんだん 1	車両積載
	やまだぶんだん 101	分団長携帯
名細分団	なぐわしぶんだん 1	車両積載
	なぐわしぶんだん 101	分団長携帯
霞ヶ関分団	かすみがせきぶんだん 1	車両積載
	かすみがせきぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

川島町消防団専用無線設備の状況

令和8年4月1日現在

移動局	電波の種類	出力	通信方式
18	消防団波 市町村波	デジタル移動局 ・車両積載 5W ・可搬型 5W ・団長・副団長携帯 2W ・分団長携帯 2W	単信方式

所属	呼出名称	備考
団本部	かわじまだんほんぶ 1	可搬型
	かわじまだんほんぶ 2	可搬型
	※ かわじまだんしれい 1	車両積載
	※ かわじまだん 201	団長携帯
	※ かわじまだん 202	副団長携帯
	※ かわじまだん 203	副団長携帯
第一分団	かわじまいちぶんだん 1	車両積載
	かわじまいちぶんだん 101	分団長携帯
第二分団	かわじまにぶんだん 1	車両積載
	かわじまにぶんだん 101	分団長携帯
第三分団	かわじまさんぶんだん 1	車両積載
	かわじまさんぶんだん 101	分団長携帯
第四分団	かわじまよんぶんだん 1	車両積載
	かわじまよんぶんだん 101	分団長携帯
第五分団	かわじまごぶんだん 1	車両積載
	かわじまごぶんだん 101	分団長携帯
第六分団	かわじまろくぶんだん 1	車両積載
	かわじまろくぶんだん 101	分団長携帯

※市町村波 導入移動局

そ の 他

自警消防隊の状況

川越市

令和8年4月1日現在

区域 隊数 等	第三		芳野		高階		大東		山田		合計
	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	隊名	人員	
1	小ヶ谷	15	北田島	16	藤間		池辺	16	上寺山	4	
2	今成	20	鴨田	31	新河岸	9			寺山	17	
3			石田本郷	17					福田	18	
4			菅間中下	13					北山田		
5			菅間上	13					南山田	15	
6			鹿飼	15					府川	4	
7											
8											
9											
10											
隊数	2		6		2		1		6		17
人員計	35		105		9		16		58		223

消 防 年 報

令和 8 年 6 月刊行

発行 川越地区消防局 財務管理課

〒350-0841 埼玉県川越市御成町1番地1

電 話 (049) 227-9973

F A X (049) 226-7291

